

第12回未成年者の携帯電話・ スマートフォン利用実態調査

2019年5月24日

デジタルアーツ株式会社

調査名	第12回未成年者の携帯電話・スマートフォン利用実態調査
調査目的	<p>急速に普及するスマートフォンの利用状況に鑑み、2011年より継続して未成年者のスマートフォンの所有割合や利用実態・フィルタリングの使用率等の調査を実施し、未成年者のインターネット利用についての課題を提起してきた。12回目となる本調査では、上記内容に加えて、インターネット・SNS上におけるコミュニケーションの現状についてもヒアリングし、ネット上のみの友達に対する未成年者の深層心理を推測する。昨今増え続ける「自画撮り被害」をはじめとしたネット上での出会いをきっかけとした被害等、未成年者が直面するネット上のリスクに対する課題を提起したい。</p>
調査方法	インターネット調査
調査対象	何らかの携帯電話・スマートフォンを持つ全国の10～18歳の未成年の男女618名と同年代の子を持つ保護者618名（計1,236名）
調査期間	2019年4月1日（月）～4月2日（火）
実施期間	株式会社マクロミル

第1回目	2011年11月 8日(金)~11月19日(土)
第2回目	2012年 6月22日(金)~ 6月23日(土)
第3回目	2012年11月 9日(金)~11月10日(土)
第4回目	2013年 8月 5日(月)~ 8月 6日(火)
第5回目	2014年 2月17日(月)~ 2月18日(火)
第6回目	2014年 6月20日(金)~ 6月24日(火)
第7回目	2015年 1月 7日(水)~ 1月14日(水)
第8回目	2015年 6月 3日(水)~ 6月 8日(月)
第9回目	2016年 1月 8日(金)~ 1月14日(木)
第10回目	2017年 1月10日(火)~ 1月16日 (月)
第11回目	2018年 1月31日(水)~ 2月4日 (日)

今回の調査では、未成年のスマートフォンの所有割合や利用実態・フィルタリングの使用率等に加え、インターネット・SNS上におけるコミュニケーションの現状についてもヒアリングし、その結果以下のような傾向が見て取れた。

ネット上のコミュニケーション (P15-20)

- ネット上のみでコミュニケーションを取る友達（ネット上の友達）がいる高校生は49.5%
- ネット上の友達に対して、「顔、容姿」を教えるても良いとする割合は未成年全体で24.1%、女子高校生では38.9%、「本名」を明かしても良いと考える割合は未成年全体で21.6%、女子高校生では29.6%

ネット上のリスクに対する危機意識 (P21-22)

- 社会的通念として、情報漏えいに危機感を感じる人は増加（保護者が43.5%と昨年から14.5%増加、未成年が43.0%と昨年から21.0%増加）
- 「自画撮り被害※1）」についての危機感は希薄（保護者の97.2%、未成年の93.7%が実感なし）

SNSの利用実態 (P26-32)

- SNSでプライベートでの出来事や本音を話す人は、未成年全体の56.1%
- SNSでコミュニケーションを取る女子高校生の18.6%に、自画撮り画像の送付依頼あり

裏アカウントの所有率 (P35-37)

- 女子高校生の69.9%、女子中学生の41.7%が裏アカウントを利用
- 内容は、「趣味、芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が最も多く、未成年全体で47.0%、理由は、「顔のわかる相手に知られたくない感情／言いたいことが言えるから」が最も多く、未成年全体で40.1%

※1) 未成年者がだまされたり脅されたりして自分の裸体等を撮影し、メール等で送られ脅迫等を受けるといふ、最近急増している被害

ネット限定の友達がいる高校生は49.5% 「自画撮り被害等」に対する危機意識が低い

個人情報漏えいのリスクを認識するも、ネット上の友達には信頼度が高く、簡単に情報や画像を提供
女子高校生の裏アカウント所有率は69.9% リアルな友達に知られたくない本音を吐露
各家庭で未成年のインターネット利用を見守る体制とフィルタリングの機能向上も必要に

ネット上の友達がいる高校生は半数近くおり、相手に「顔、容姿」や「本名」を明かしても良いと考えるなど、一定程度の信頼感を持っている。また、裏アカウントの所有率は女子高校生と女子中学生で増加傾向にあり、顔のわかる相手に知られたくない感情等を書き込むため利用されている。

ネット上のリスクに対しては、保護者と未成年、ともに昨年に比べ当事者意識を持つ人の割合は増えてきているが、「個人情報の漏えい」等あくまでも社会的な通念や知識の範囲であり、自分自身が「自画撮り被害」やネット上での出会いをきっかけとした被害等に遭う危険については危機意識が低い。

こうした未成年の心理や状況を相手が悪用した場合、重要な情報や写真等を送らされてしまい、深刻な被害に遭う可能性も有り得る。

被害を防ぐためには、未成年とその保護者がともにネット上のリスクについて認識し、ネット上での情報授受に細心の注意を払うとともに、保護者が未成年のインターネット利用を見守る体制を整えることが重要である。フィルタリングソフトは、上手に活用することで各家庭で未成年とのコミュニケーションを取りながら成長に合わせて対策をすることが可能であるが、徐々に利用率が低下している。今後は危険なサイトは確実にブロックし、知りたい（安全な）サイトはより早く閲覧できるよう有害サイトのカテゴライズを見直すなど、機能を向上させることで一人でも多くの方が安心してインターネットを利用していただけるよう努めたい。

- ①スマートフォン／携帯電話の使用状況 (P6-14)
- ②ネット上のコミュニケーションとリスクに対する意識 (P15-22)
- ③使用頻度の高いアプリとSNSの利用実態 (P23-32)
- ④裏アカウントの所有率とネット上の友達に対する安心感 (P33-39)
- ⑤フィルタリングの利用率 (P40-46)

スマートフォン／携帯電話の使用状況

トピックス

■スマートフォンの所有率

何らかの携帯電話を持つ未成年者（10～18歳）のスマートフォン所有率は94.5%で、昨年から3.7%増加。特に小学生の所有率が90.0%と昨年より16.5%増加している。所有割合は、Androidが40.8%、iOSが58.7%。これらのうち、格安SIMの使用率は23.3%であった。

■スマートフォン／携帯電話の利用時間、利用方法等

スマートフォン／携帯電話の平均利用時間は未成年全体で3.7時間で、昨年から0.5時間増加。学齢別に見ると、小学生が2.5時間（昨年から0.6時間増加）、中学生が2.8時間（昨年から0.4時間増加）、高校生：5.7時間（昨年から0.1時間増加）している。

■スマートフォンの利用時間帯

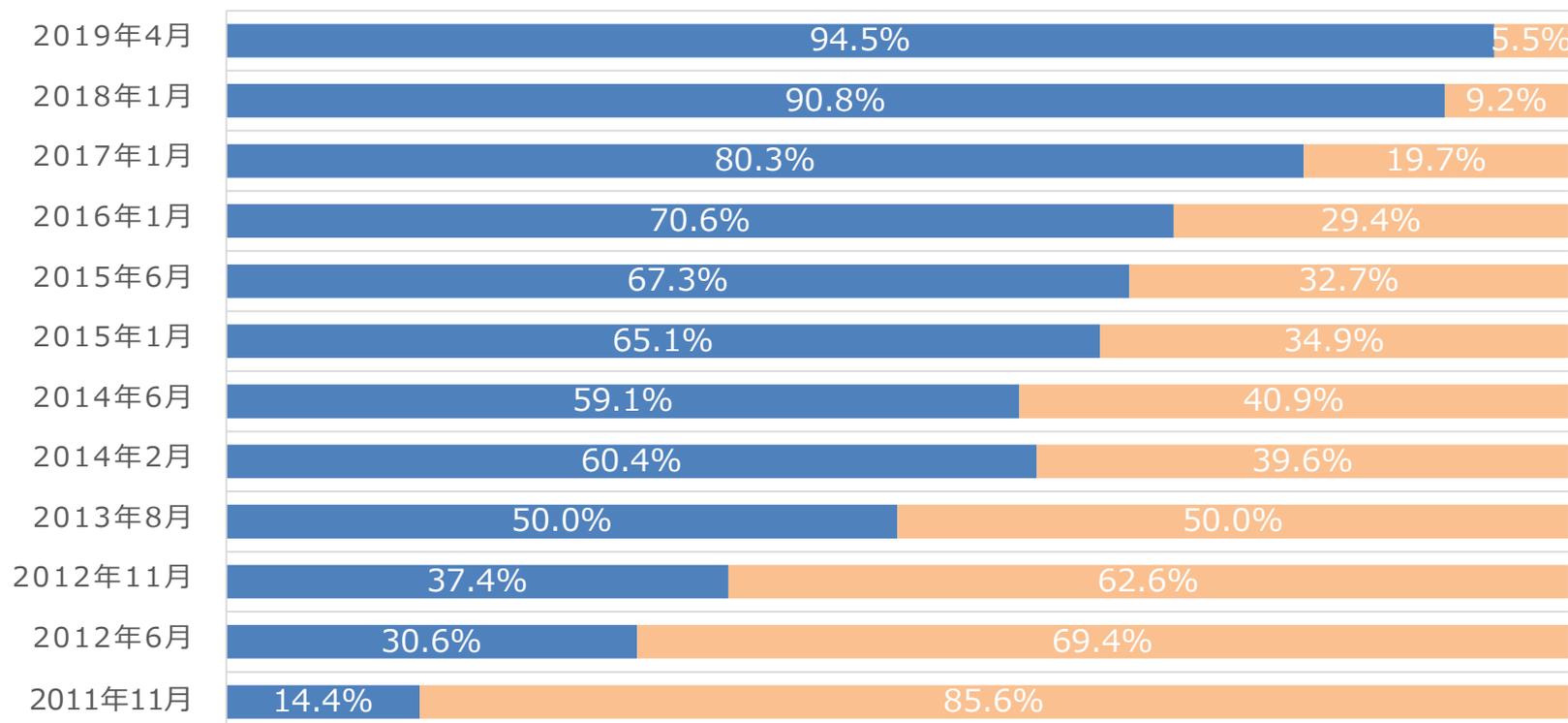
最も多く利用する時間帯は、未成年全体では「18時～21時」で75.4%（昨年より2.3%増加）、次いで「21時～24時」が56.3%（昨年より3.2%減少）。女子高校生は「0時～3時」が33.0%と昨年から10.7%増加、「21時～24時」も81.6%と7.8%増加している。

■何らかの携帯電話を持つ未成年者のスマートフォン所持率

未成年全体では94.5% 昨年から3.7%増加

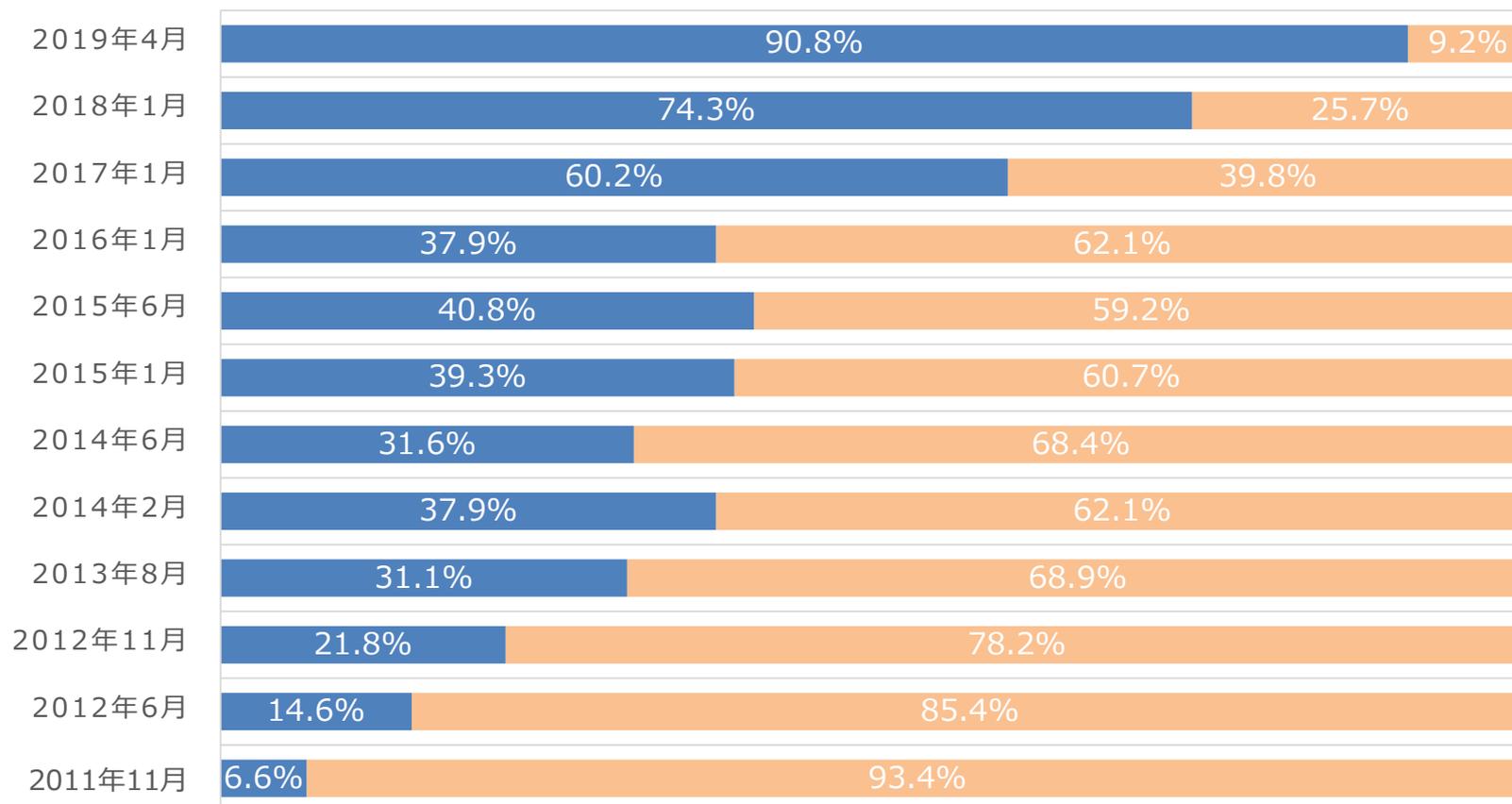
■スマートフォンを所有する未成年（n=557）のうち、Androidの使用率40.8%、iPhoneの使用率が58.7%、また、格安SIMの使用率は17.3%であった

■ スマートフォン使用 ■ スマートフォン未使用



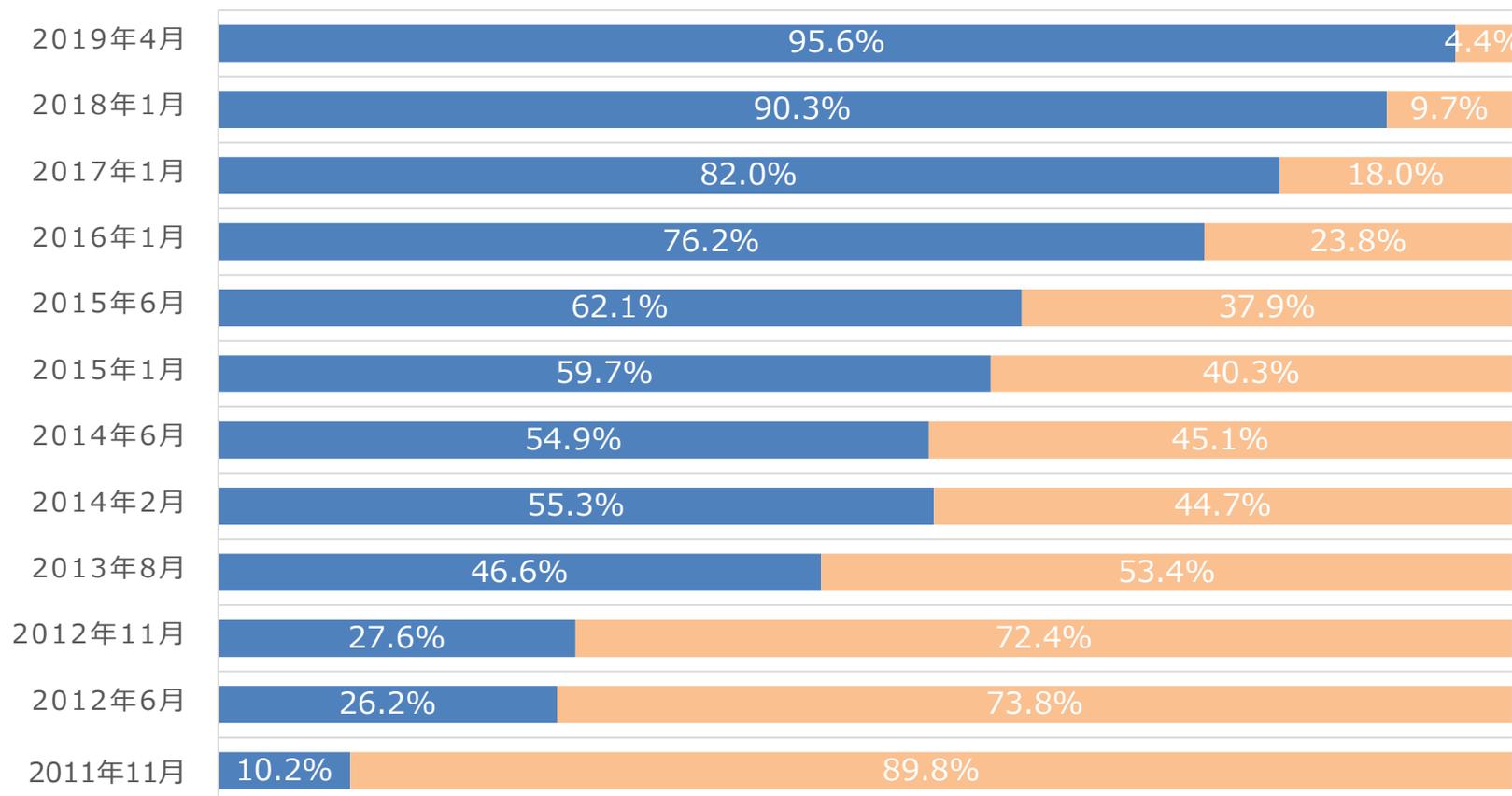
■小学生の所有率は90.8% で昨年から16.5%増加

■ スマートフォン使用 ■ スマートフォン未使用



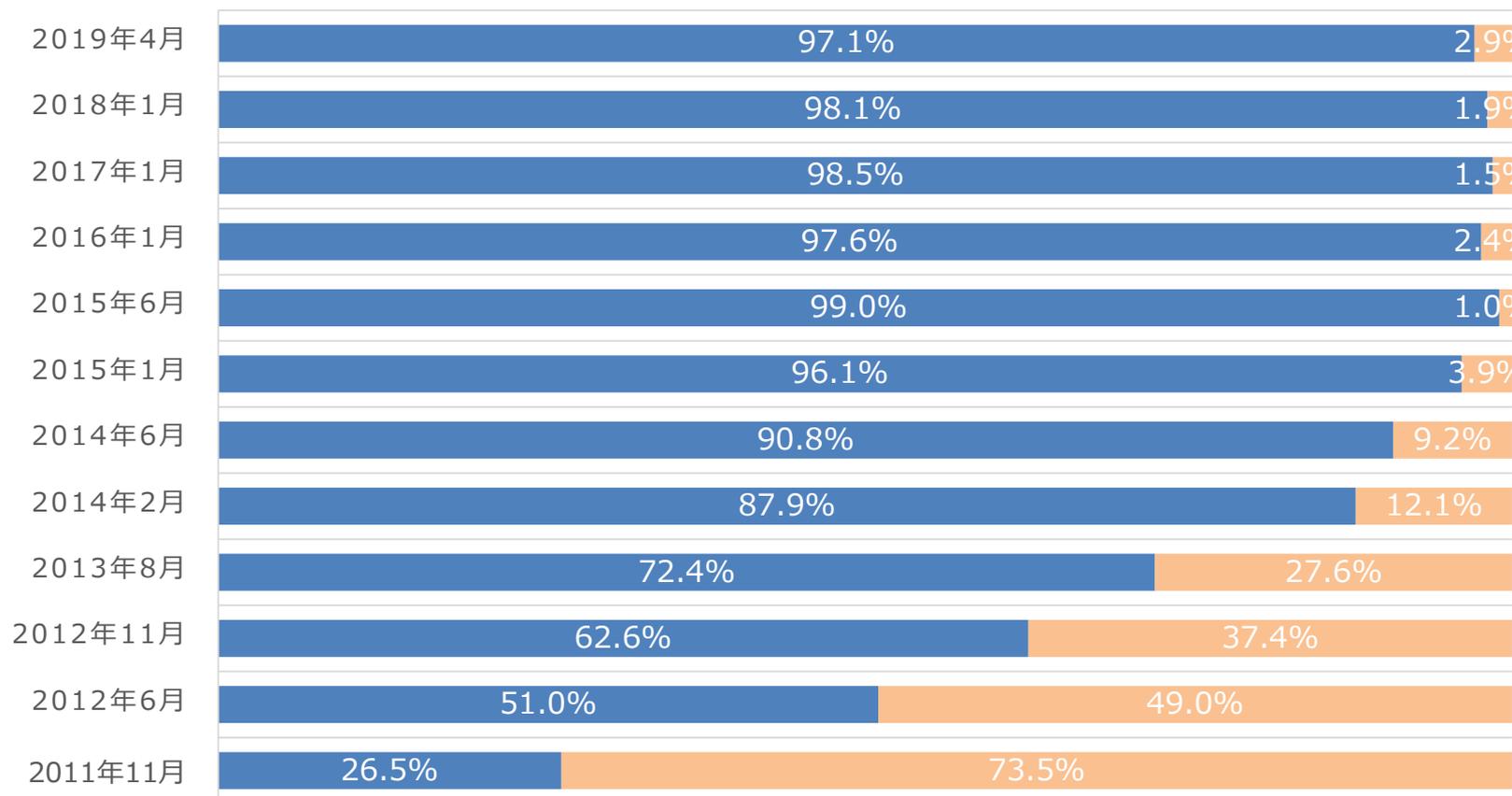
■ 中学生の所有率が95.6% と昨年から5.3%増加

■ スマートフォン使用 ■ スマートフォン未使用

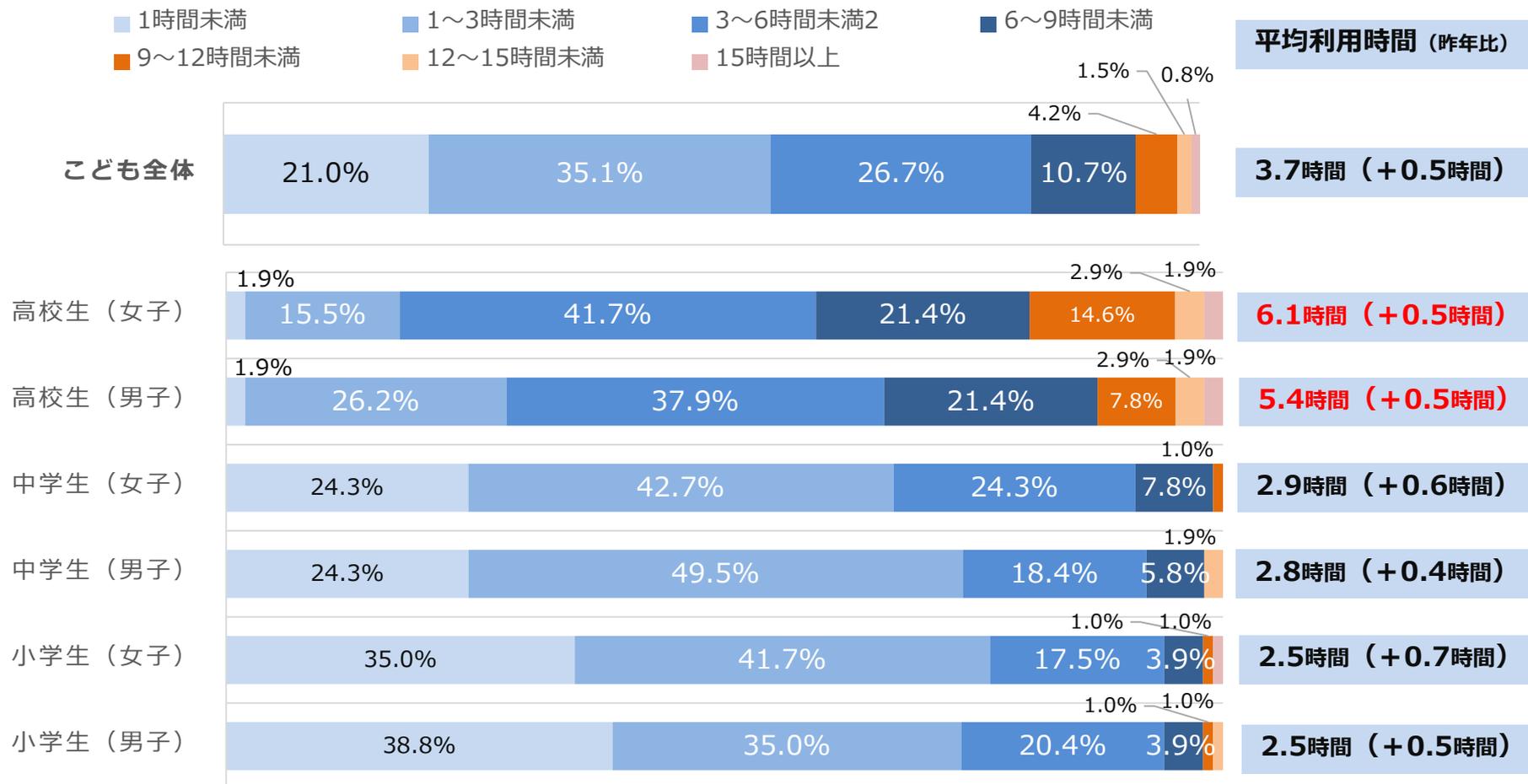


■ 高校生の所有率が97.1% と昨年から1.0%減少

■ スマートフォン使用 ■ スマートフォン未使用

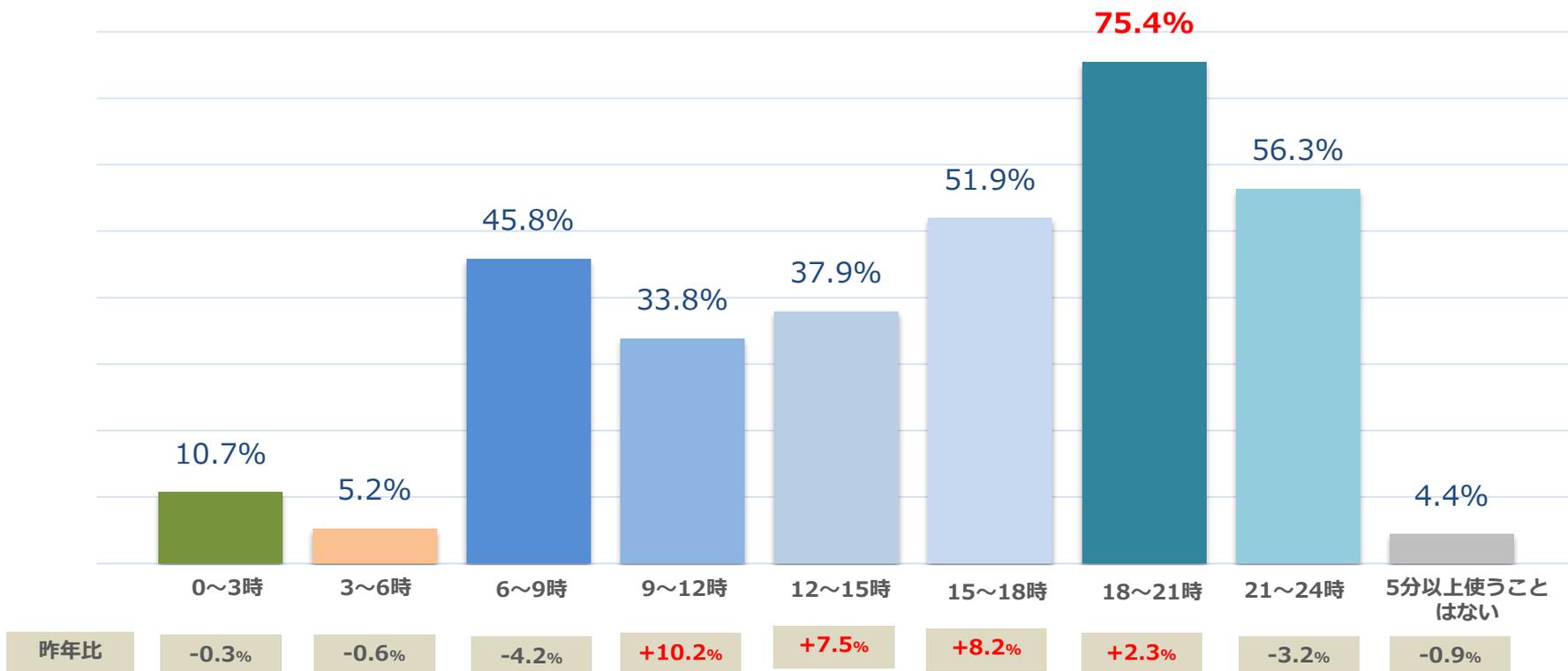


■ 未成年全体で3.7時間で、昨年から0.5時間増加、最も平均時間が長いのは女子高校生で、6.1時間



■ 未成年全体では「18時～21時」が最も多く、75.4%で昨年より2.3%増加、「21時～24時」が56.3%で昨年より3.2%減少

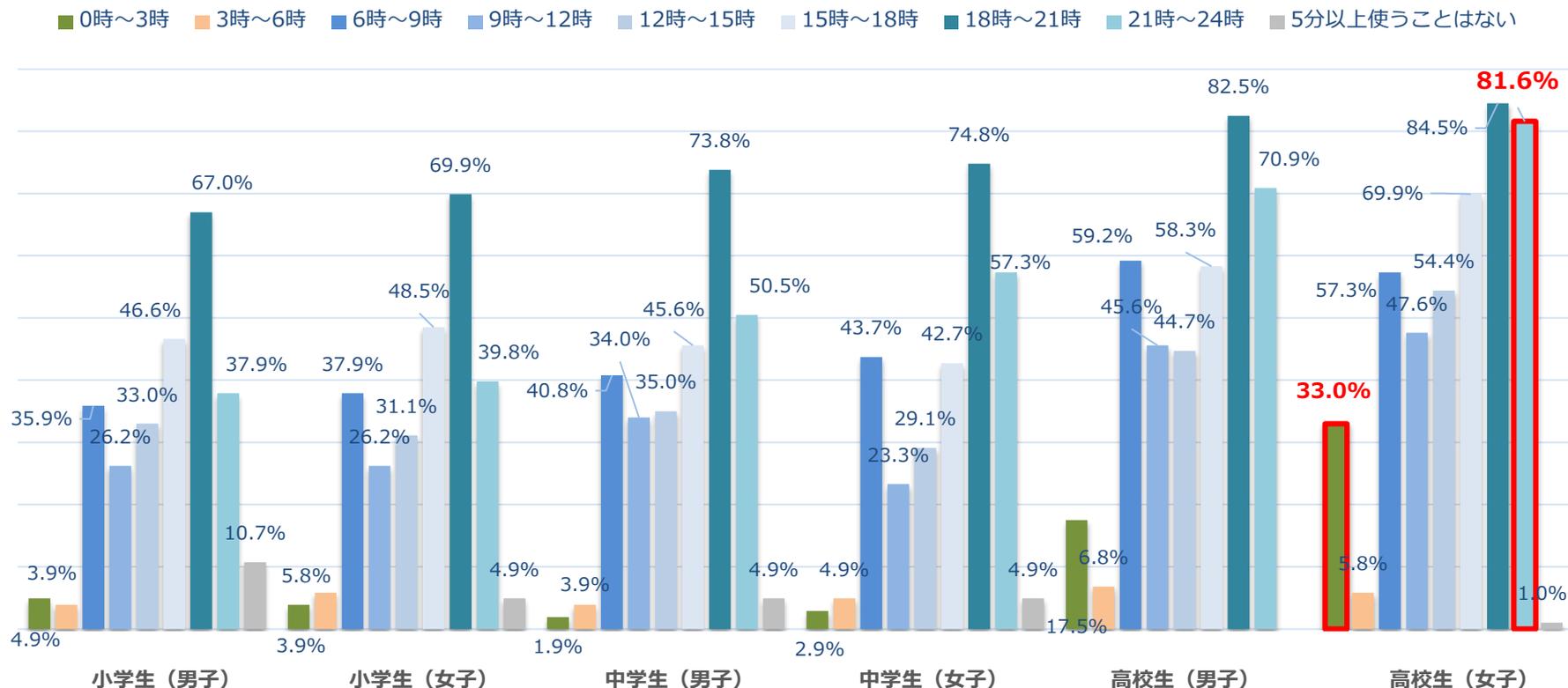
Q あなたは、スマートフォン/携帯電話をどの時間帯に使っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。 ※合計して5分以上使っている時間帯をすべてお選びください



■女子高校生が「0時～3時」の時間帯で33.0%と昨年から10.7%増加、 「21時～24時」も81.6%と7.8%増加

Q あなたは、スマートフォン／携帯電話をどの時間帯に使っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

※合計して5分以上使っている時間帯をすべてお選びください



ネット上のコミュニケーションと リスクに対する危機意識

トピックス

■ ネット上のコミュニケーション

ネット上だけでコミュニケーションを取る友達がいる高校生は49.5%。

■ ネット上の知り合いについて

ネット上で知り合った人と実際に会うことを希望する女子高校生は64.8%で、まだ会っていない相手でも会いたい又は写真を送っても良いと考えている女子高校生は44.4%。

また、ネット上の知り合いに教えても良い事柄として、38.9%が「顔・容姿」、29.6%が「本名」を挙げており、他の学齢に比べてハードルが低い。

■ ネット上のリスクに対する危機意識

ネット関連の事件で当事者になりうると感じる事件について、保護者の47.9%、未成年の44.0%が「特にない」と回答、前回よりわずかに減少している。もっとも多い事柄は「個人情報への漏えい」で、未成年全体で43.0%と昨年より21.0%増加。

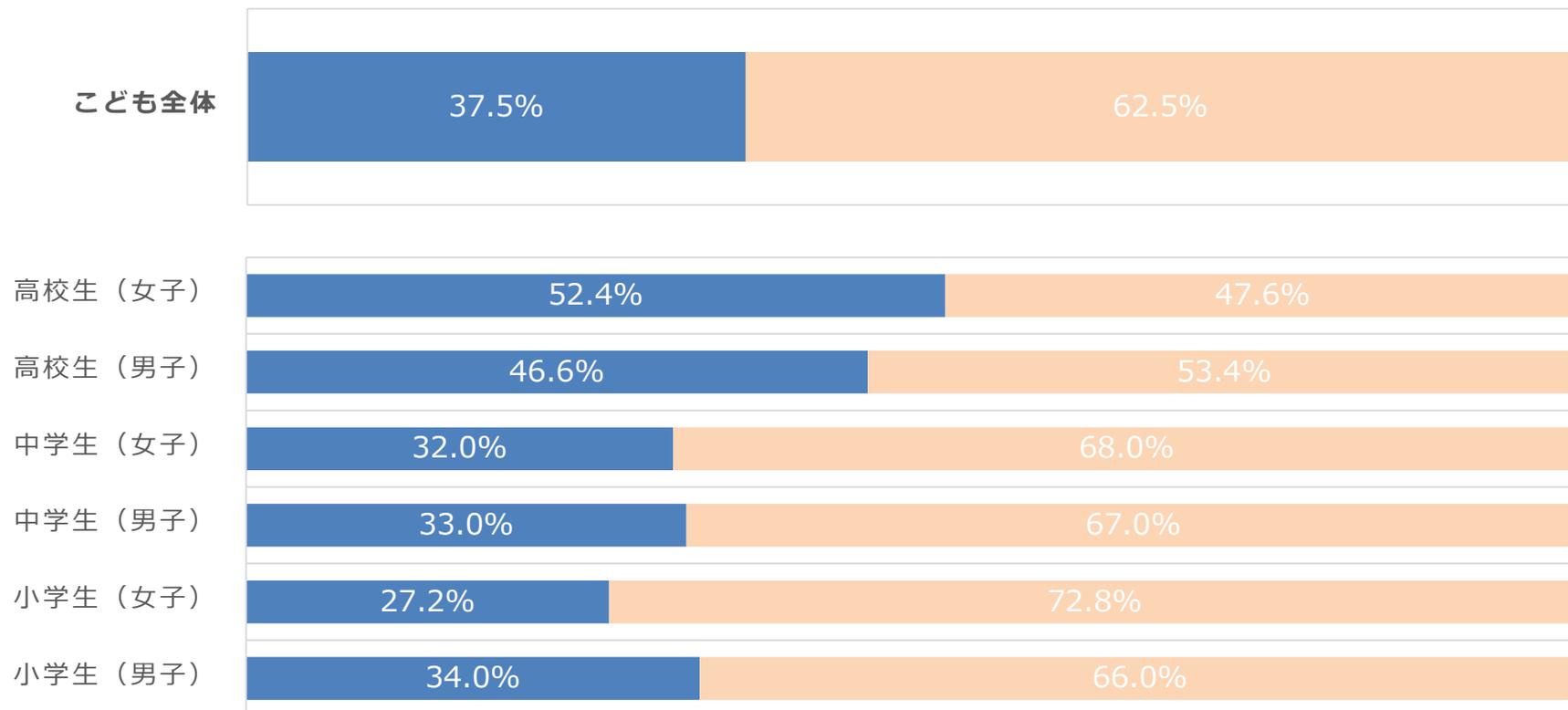
これに対し、「自撮り被害」については5.0%、ネット上での出会いをきっかけとした被害については6.3%と危機意識が低い。

■ ネット上だけでコミュニケーションを取る友達がいる未成年は37.5%、 高校生では男子が46.6%、女子が52.4%

Q. インターネット上だけでコミュニケーションを取る友達はいますか。

■ ネット上の友達がいる

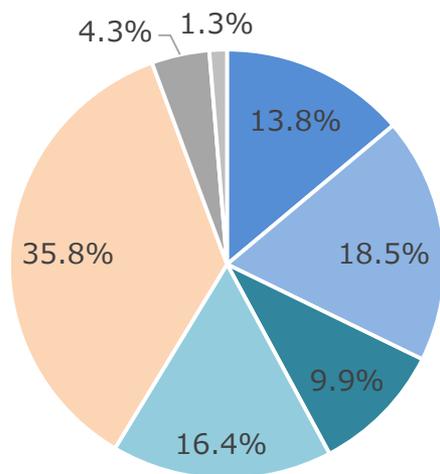
■ ネット上の友達はいない



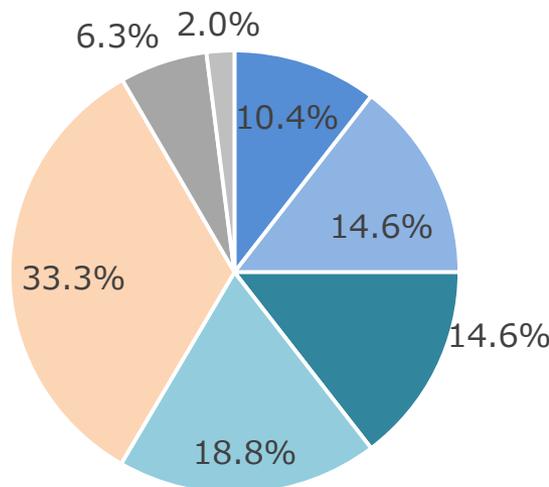
- ネット上の友達と実際に会うことを希望する女子高校生が64.8%、
- 未成年全体では48.7%

Q インターネット上でコミュニケーションを取る友達との関係をこれからどうしていきたいですか。
最もあてはまるものを1つだけお答えください

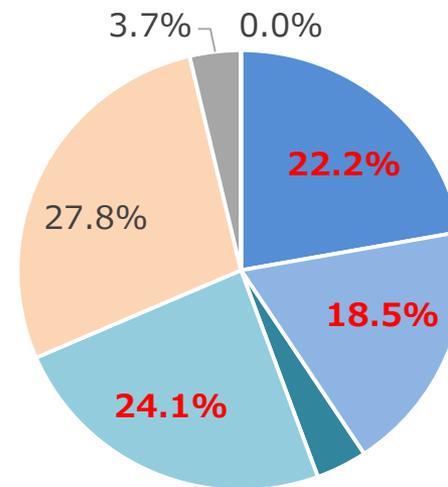
- 十分仲良くなったので、できれば会ってみたい
- もう少し仲良くなればあっても良い
- 会うのは抵抗があるが、顔写真または顔が写っていない写真なら送っても良い
- 既に会っていてこれからも会いたい
- 会うつもりも写真を送るつもりもなく、これからもネット上の会話だけで良い
- 会ってみたが、ネット上の情報とは全然違っていただけでもう会うつもりもない
- その他



未成年全体



高校生（男子）

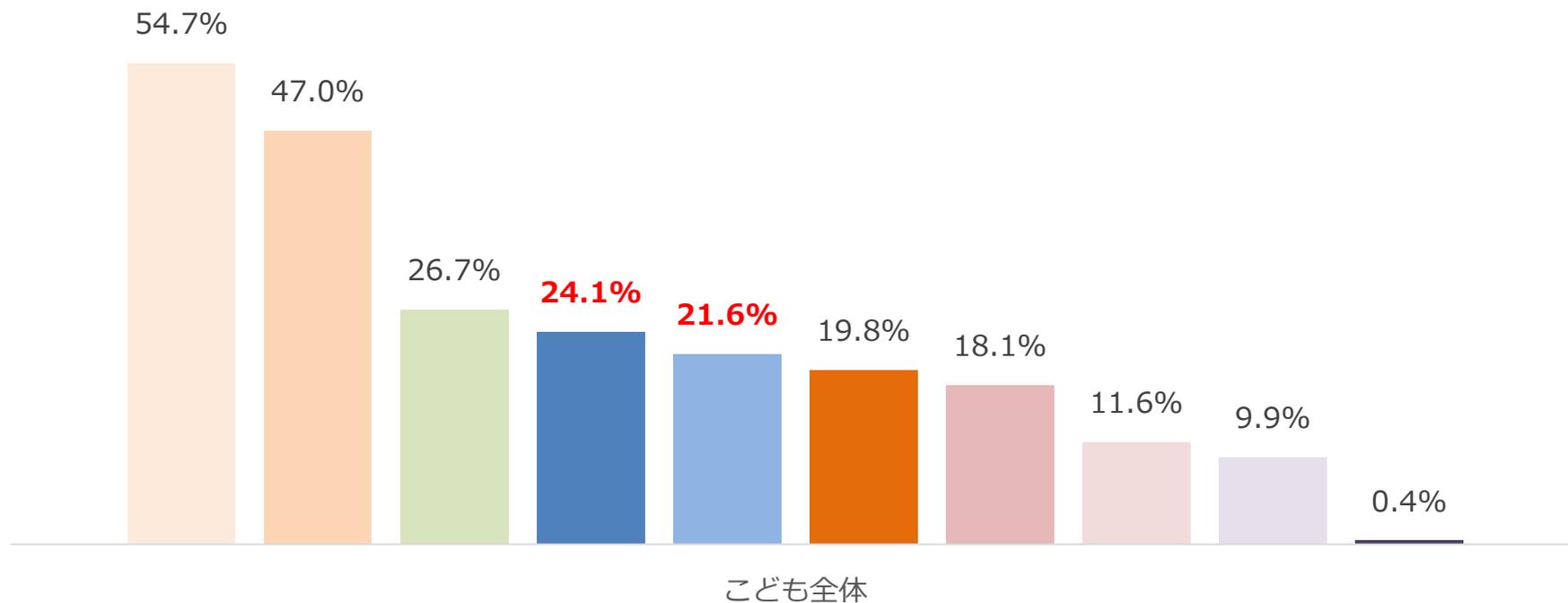


高校生（女子）

■ 「顔・容姿」を教えられるとする未成年が24.1% 「本名」が21.6%、

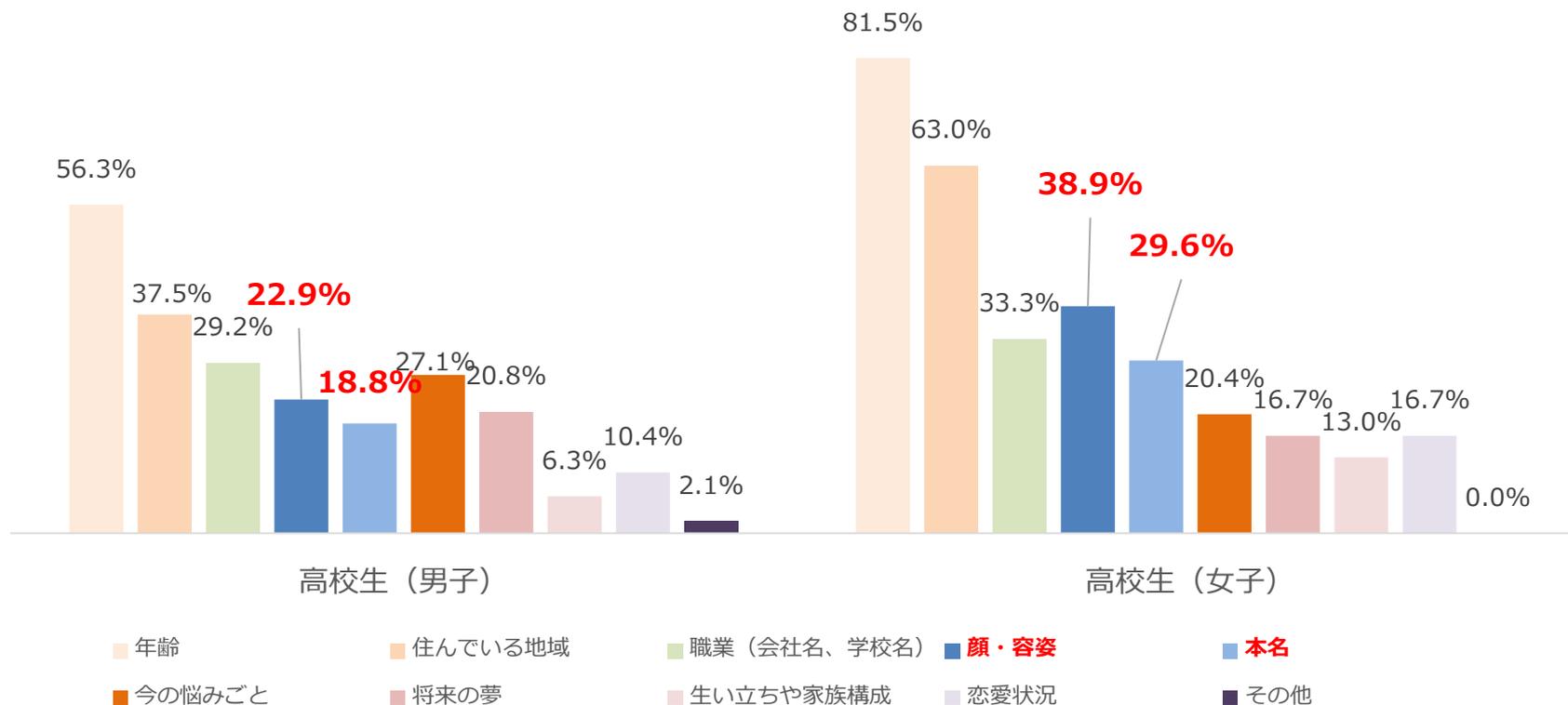
Q. インターネット上でコミュニケーションを取る友達にどこまで情報を教えられますか。あてはまるものを全てを選んでください。

■ 年齢 ■ 住んでいる地域 ■ 職業（会社名、学校名） ■ **顔・容姿** ■ **本名** ■ 今の悩みごと ■ 将来の夢 ■ 生い立ちや家族構成 ■ 恋愛状況 ■ その他



■ 「顔・容姿を教えても良い」とする女子高校生が38.9%、 「本名」を教えてもよいとするも29.6%

Q. インターネット上でコミュニケーションを取る友達にどこまで情報を教えられますか。あてはまるもの全てを選んでください。

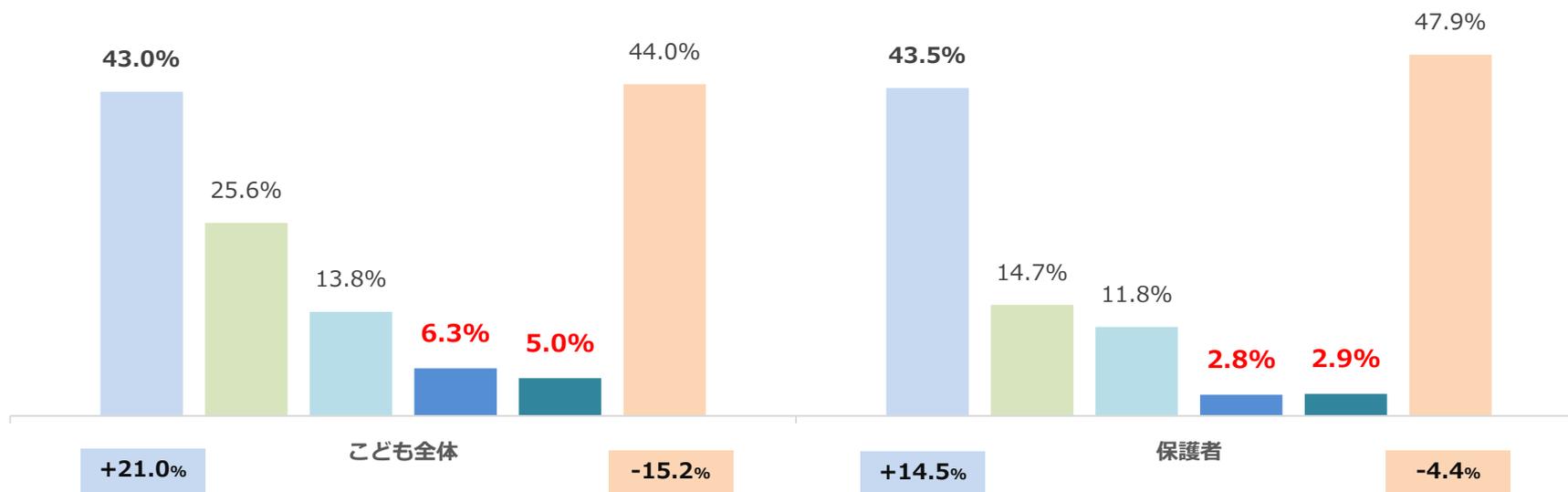


当事者になりうると感じたネット上の事件

- 「個人情報の漏えい」が最も多く、未成年全体で43.0%、保護者の43.5%が回答、昨年よりも増加している（未成年全体：21.0%、保護者：14.5%）
- 未成年の44.0%、保護者の47.9%が「特にない」と回答、それぞれ昨年より減少

Q インターネットに関連した事件で自分が当事者（被害者／加害者）になりうると感じた事件を選んでください。

- 個人情報の漏えい
- ゲーム課金
- 自分の写真を送られ、脅迫される
- 自分／友達／知り合いの写真・動画を勝手にネット上に投稿される
- ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される
- 特にない

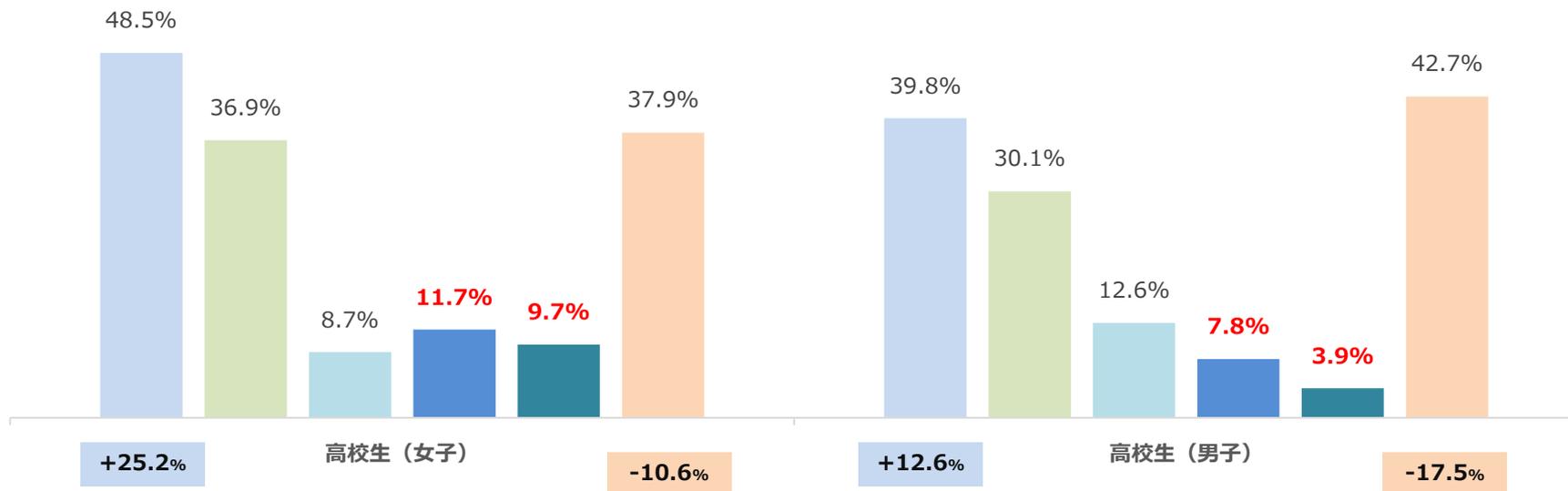


当事者になりうると感じたネット上の事件

- 高校生でも「個人情報の漏えい」が最も多く、昨年より増加している
- 「ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される」、「自分の写真を送らされ、脅迫される」は少ない

Q インターネットに関連した事件で自分が当事者（被害者／加害者）になりうると感じた事件を選んでください。

- 個人情報の漏えい
- ゲーム課金
- 自分の写真を送らされ、脅迫される
- 自分／友達／知り合いの写真・動画を勝手にネット上に投稿される
- ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される
- 特にない



使用頻度の高いアプリと SNSの利用実態

トピックス

■ 使用頻度の高いアプリ

未成年の使用頻度が最も高いアプリは「LINE」で82.0%、昨年から0.4%微減するも高い割合。次いで「YouTube」が76.2%で昨年から12.1%増加。不適切な投稿等が続いてニュースとなった「Twitter」は4位で37.9%で、昨年から1.6%減少。「Instagram」が昨年に続いて大きく伸び続け、男子高校生で48.5%、女子高校生で77.7%であった。

■ SNS または写真・動画アプリの利用

SNS等の利用方法は、小学生と中学生では「撮影のみ」が最も多く、高校生では「他人の投稿を閲覧する」が最も多い。「投稿する」は女子高校生が最も多く、63.1%。次いで多いのは男子高校生で、33.0%であった。

■ SNSに撮影・閲覧・投稿する理由

内容は「プライベートでの出来事、感じたこと」を挙げる未成年が56.1%で最も多い。他の学齢でも同じ傾向が見られるが、女子高校生は「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が最も多く、「自分の考え方や悩み事など」も53.4%で、他の学齢より多かった。

■ SNSを利用する理由

理由としては、「趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから」が最も多く、男子高校生が68.9%、女子高校生が76.8%であった。

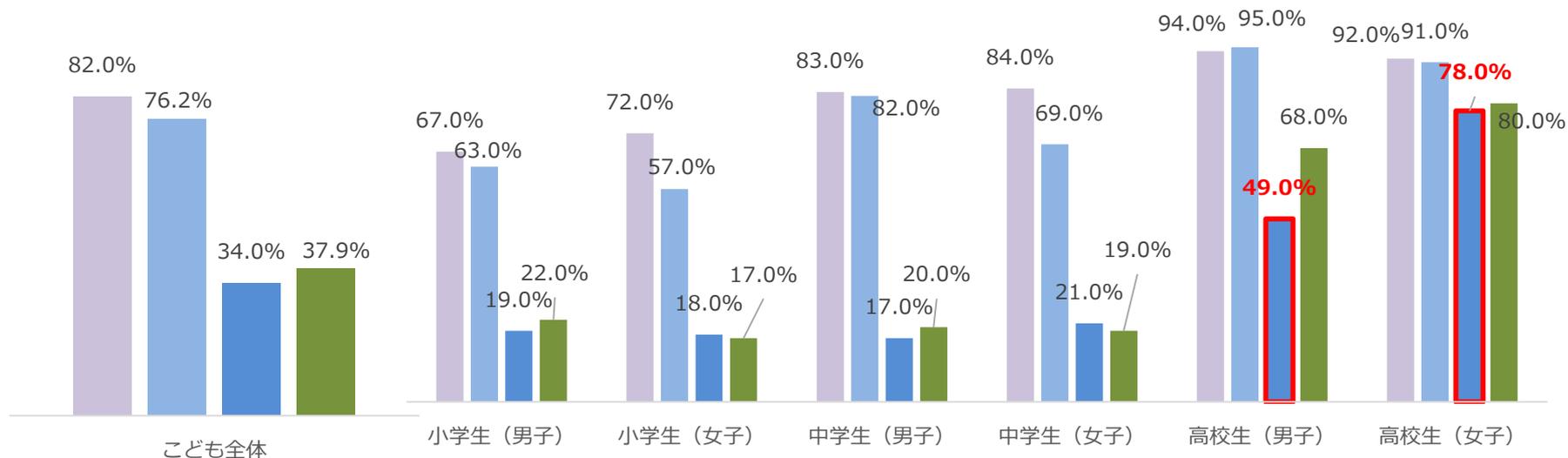
■ SNSを通じた特定の相手とのコミュニケーション

SNSを通じて特定の相手とコミュニケーションを取る女子高校生のうち、18.6%が「自分の顔または身体が写っている写真・動画を送ってほしいと言われた」、7.0%が「家族、友人、周囲の人に相談できない内容又は写真・動画を投稿または特定の相手に送った」経験を持っていた。

- 未成年全体では、LINE が最も多く82.0%と昨年から0.4%減少、次いでYouTube が76.2%と昨年から12.1%増加、Twitter は37.9%で、昨年から1.6%減少
- Instagramが男子高校生で48.5%と昨年から20.3%増加、女子高校生で77.7%と昨年から3.9%増加、SNOW が未成年全体では21.0%であったが、女子高校生が61.0%と人気が高く、昨年から1.7%増加

Q あなたが最近よく使うアプリはなんですか。

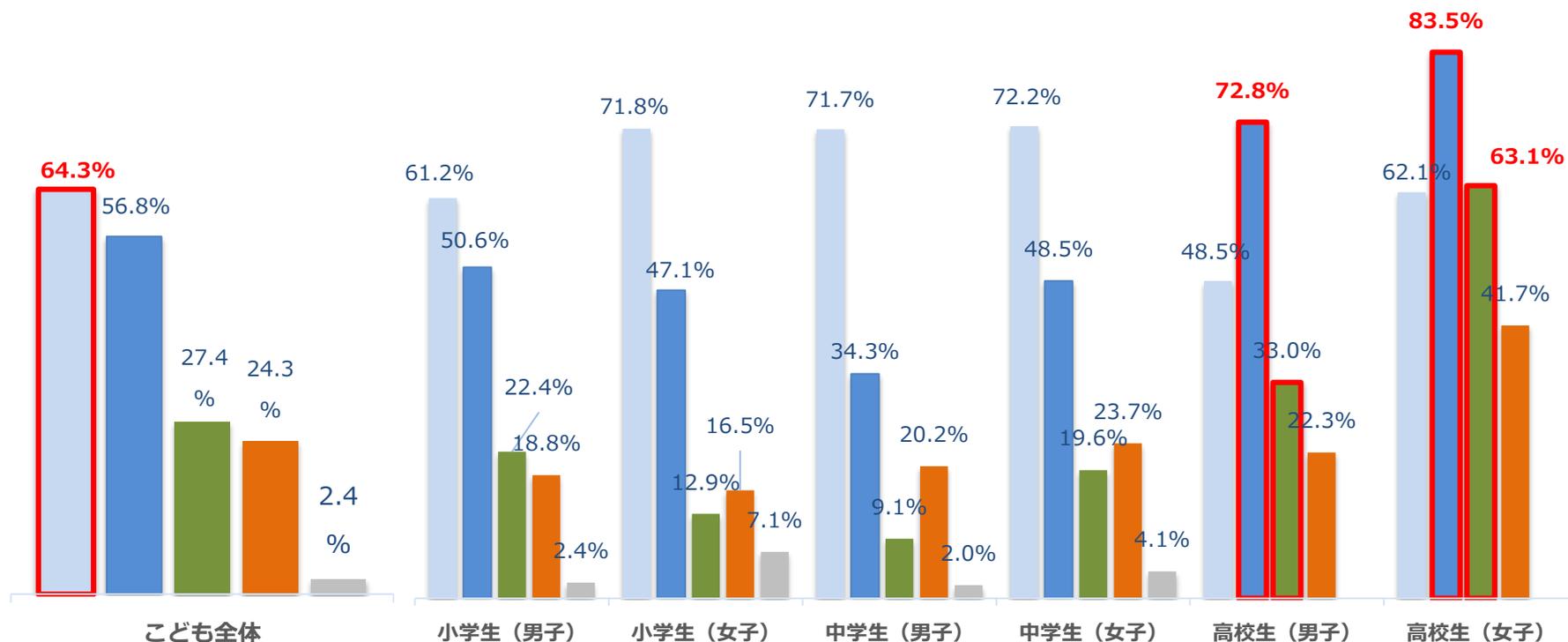
■ LINE ■ YouTube ■ Instagram ■ Twitter



- 未成年全体では、「撮影のみ」が64.3%と最も高い
- 高校生では、「他人の投稿を閲覧する」が最も高く、男子で72.8%、女子で83.5%
- 「投稿する」は男子高校生で33.0%、女子は63.1%

Q. SNSまたは写真・動画アプリをどのように利用していますか。あてはまる項目を全てチェックしてください。

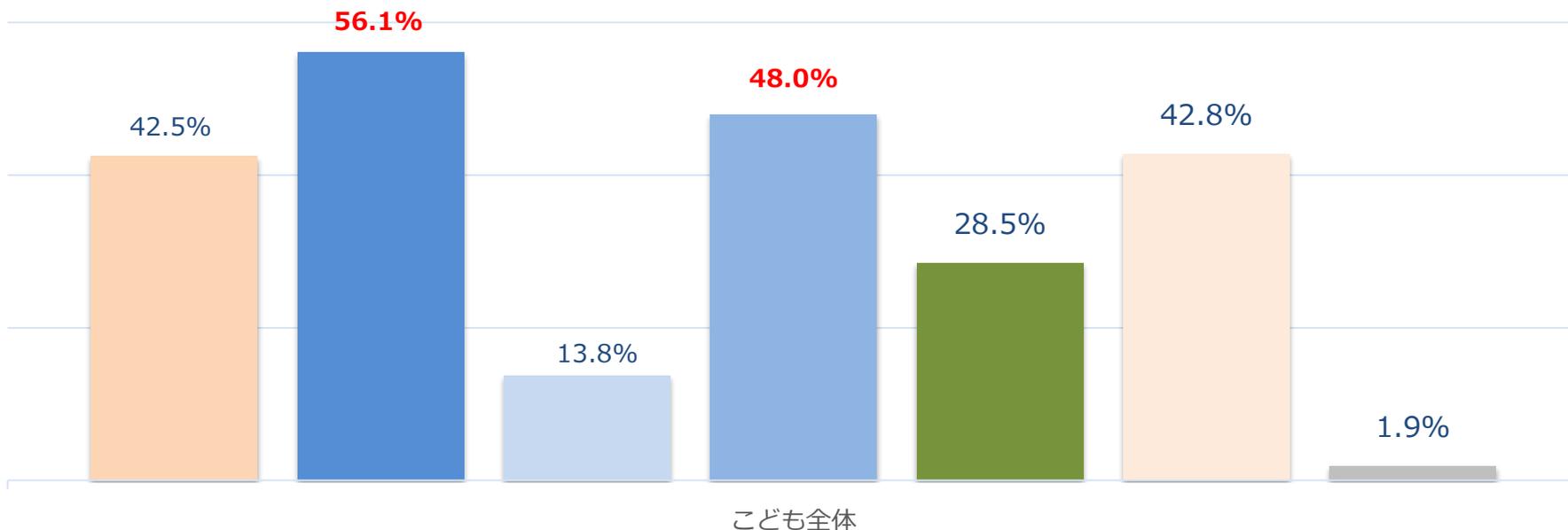
■ 写真・動画アプリで撮影するのみ ■ 他人の投稿を閲覧する ■ 投稿する ■ 特定の相手と連絡を取る ■ その他



■内容は、「プライベートでの出来事、感じたこと」が未成年全体で56.1%と最も多い、次いで、「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が48.0%

Q SNSまたは写真・動画アプリをどのように利用していますか。あてはまる項目を全てチェックしてください。

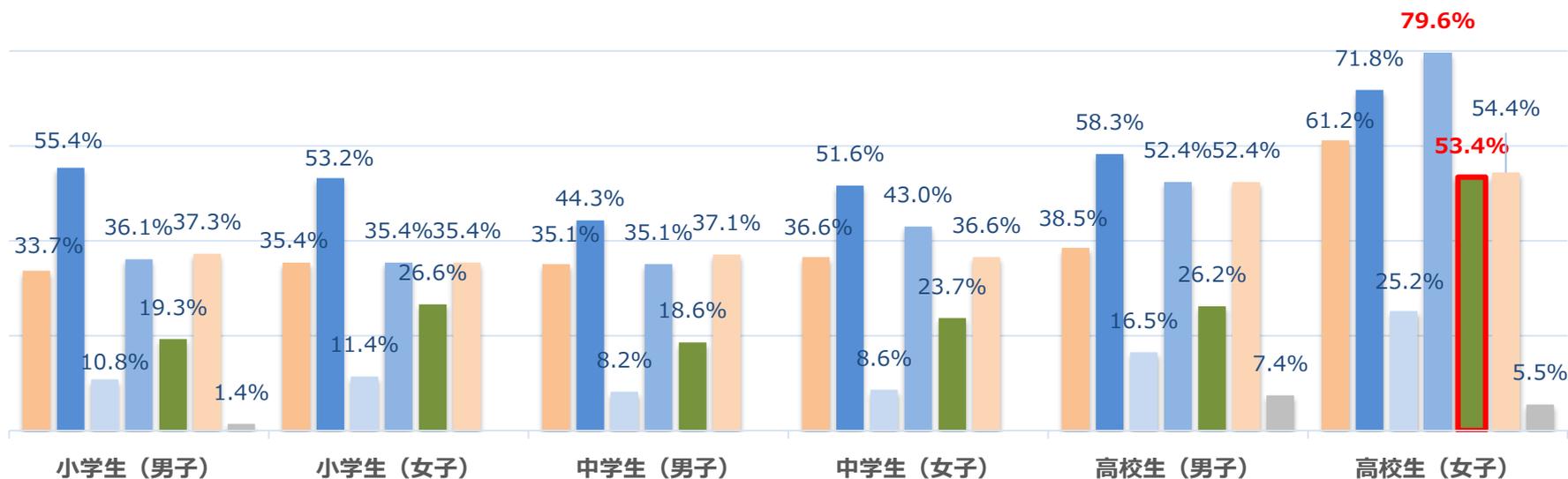
- 学校、職場での出来事、感じたことなど
- プライベートでの出来事、感じたことなど
- アルバイト先での出来事、感じたことなど
- 趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報
- 自分の考え方や悩み事など
- 面白いネタ、自己表現
- その他



■女子高校生では「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が79.6%と最も多いが、「自分の考え方や悩み事など」も53.4%

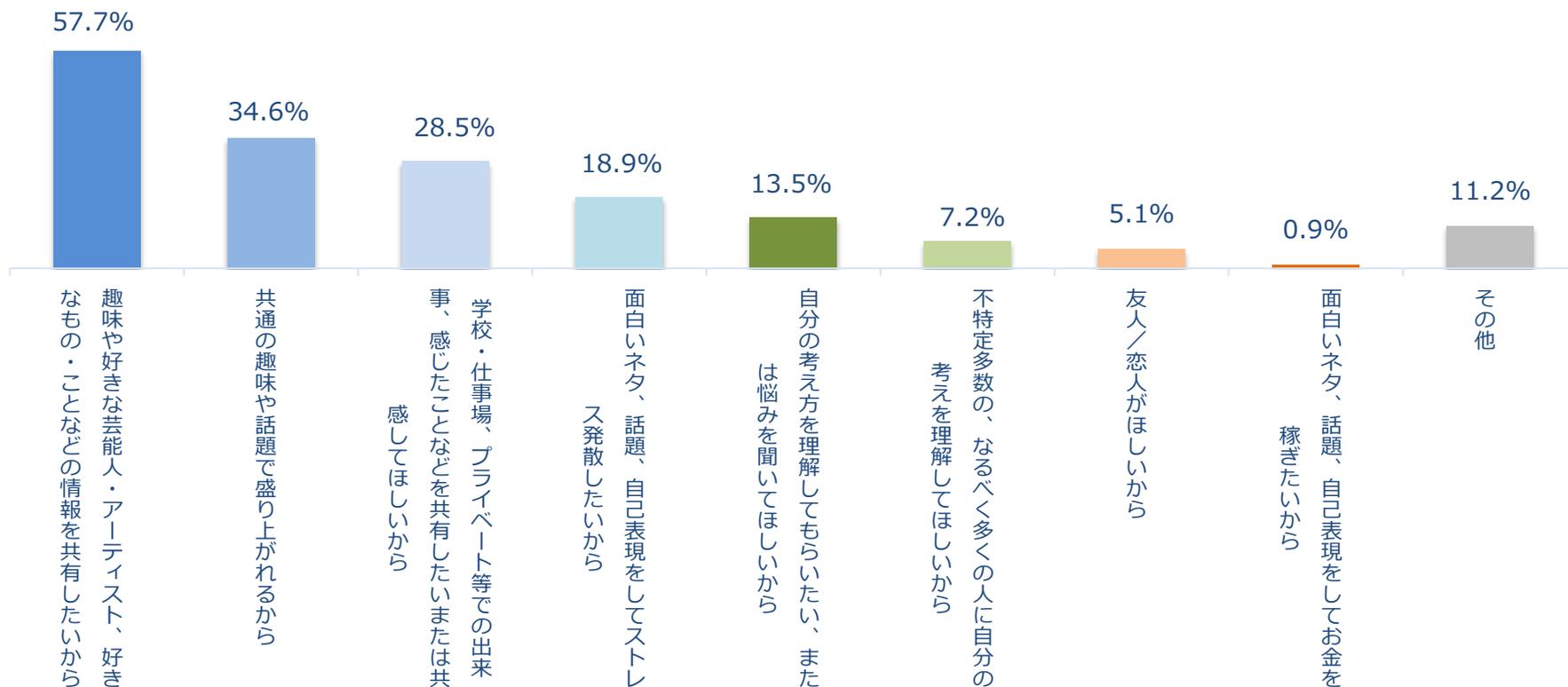
Q SNSまたは写真・動画アプリをどのように利用していますか。あてはまる項目を全てチェックしてください。

- 学校、職場での出来事、感じたことなど
- プライベートでの出来事、感じたことなど
- アルバイト先での出来事、感じたことなど
- 趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報
- 自分の考え方や悩み事など
- 面白いネタ、自己表現
- その他



■未成年全体で、「趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから」が57.7%と最も多い。

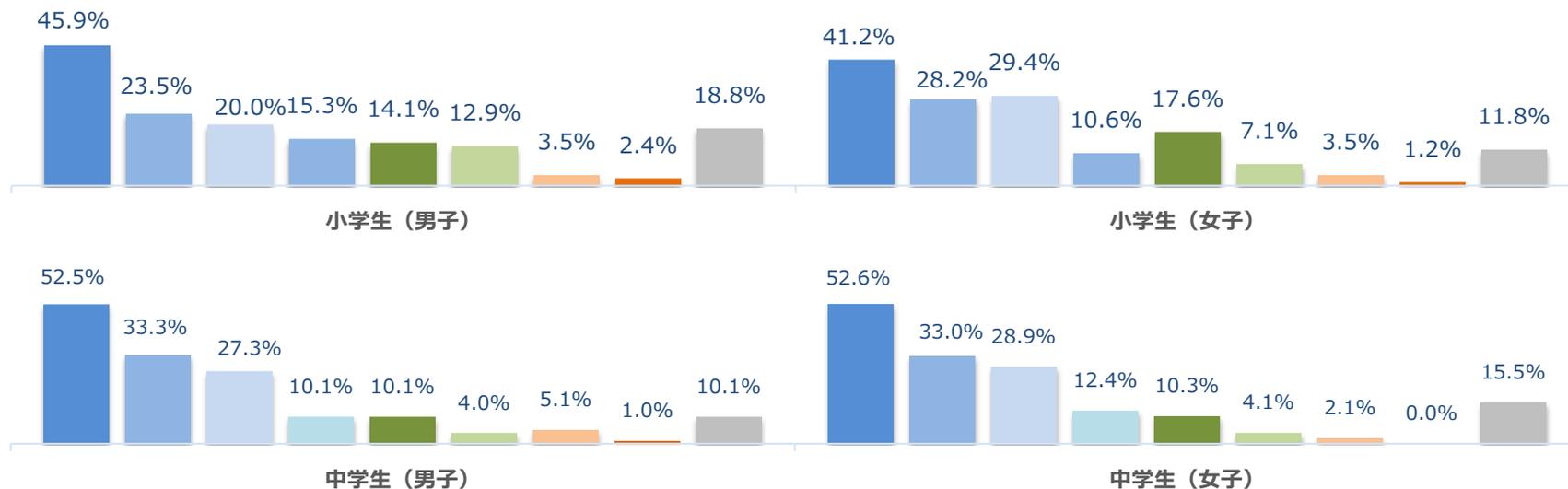
Q. あなたがSNSまたは写真・動画アプリを利用するのはなぜですか。



■小学生・中学生にも同様の傾向が見られ、「趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから」が最も多い

Q あなたがSNSまたは写真・動画アプリを利用するのはなぜですか。

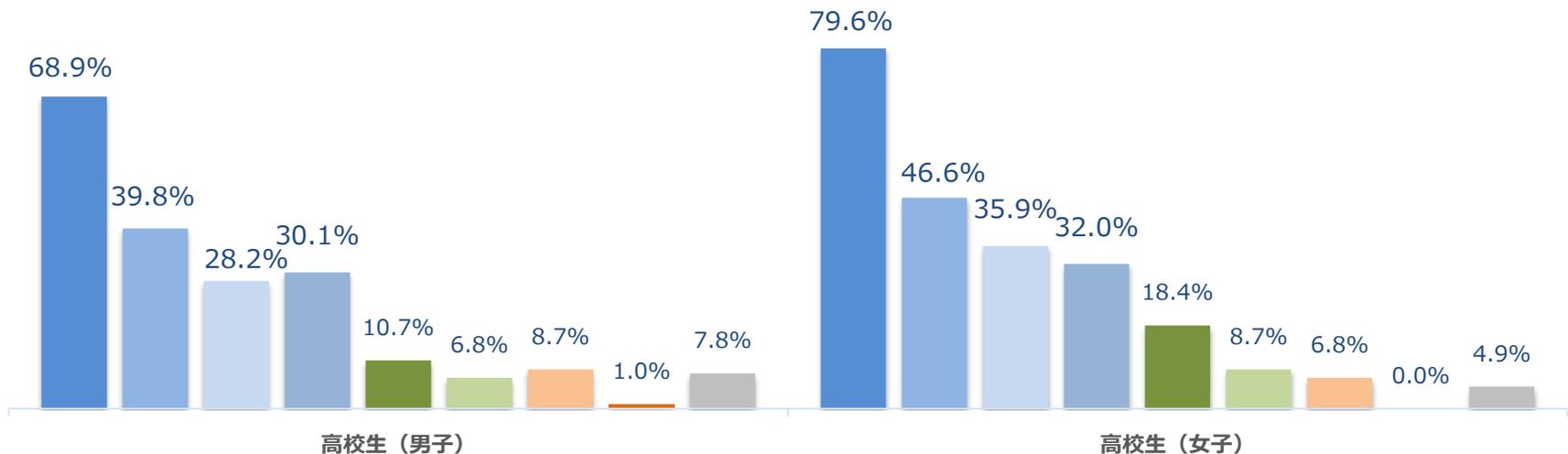
- 趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから
- 共通の趣味や話題で盛り上がるから
- 学校・仕事場、プライベート等での出来事、感じたことなどを共有したいまたは共感してほしいから
- 面白いネタ、話題、自己表現をしてストレス発散したいから
- 自分の考え方を理解してもらいたい、または悩みを聞いてほしいから
- 不特定多数の、なるべく多くの人に自分の考えを理解してほしいから
- 友人／恋人がほしいから
- 面白いネタ、話題、自己表現をしてお金を稼ぎたいから
- その他



■ 高校生で「趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから」は男子で68.9%、女子で76.8%

Q あなたがSNSまたは写真・動画アプリを利用するのはなぜですか。

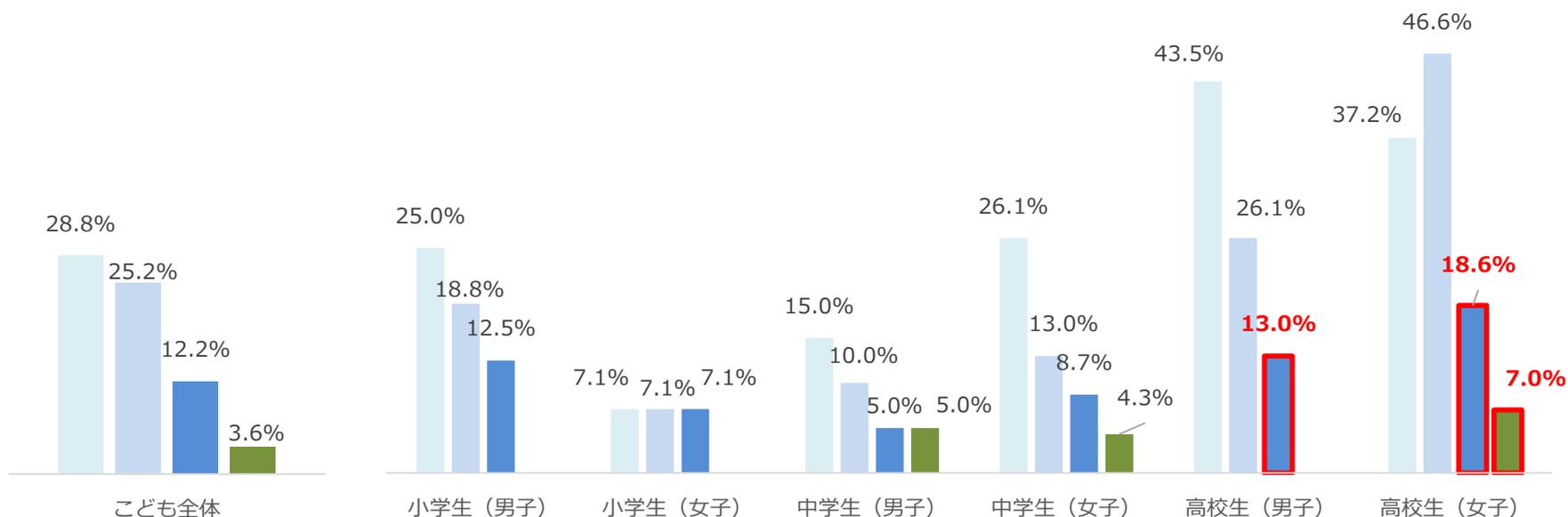
- 趣味や好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報を共有したいから
- 共通の趣味や話題で盛り上げられるから
- 学校・仕事場、プライベート等での出来事、感じたことなどを共有したいまたは共感してほしいから
- 面白いネタ、話題、自己表現をしてストレス発散したいから
- 自分の考え方を理解してもらいたい、または悩みを聞いてほしいから
- 不特定多数の、なるべく多くの人に自分の考えを理解してほしいから
- 友人／恋人がほしいから
- 面白いネタ、話題、自己表現をしてお金を稼ぎたいから
- その他



- 未成年全体では、「他人の投稿を拡散した」が最も多く、28.8%
- 「自分の顔または身体が写っている写真・動画を送ってほしいと言われた」女子高校生は、18.6%、「家族、友人、周囲の人に相談できない内容又は写真・動画を投稿または特定の相手に送った」7.0%

Q 次のうちあなたが経験のある項目をお選びください。

- 他人の投稿を拡散した
- 他人や有名人の写真・動画を許可無く投稿または特定の相手に送った
- 自分の身体が写っている写真・動画を送ってほしいと言われた



裏アカウントの所有率と ネット上の友達に対する安心感

トピックス

■裏アカウントの所有率

裏アカウントを持つ女子高校生は69.9%と微増傾向。女子中学生が41.7%で昨年より12.6%増加。

■裏アカウントで投稿する内容・理由

内容は、「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が最も多く、女子高校生は73.6%。また、「考え方や悩み事など」を投稿する女子高校生は23.6%。理由としては、「顔のわかる相手に知られたくない感情／言いたいことが言えるから」が最も多い。

■ネット上の友達に対する安心感

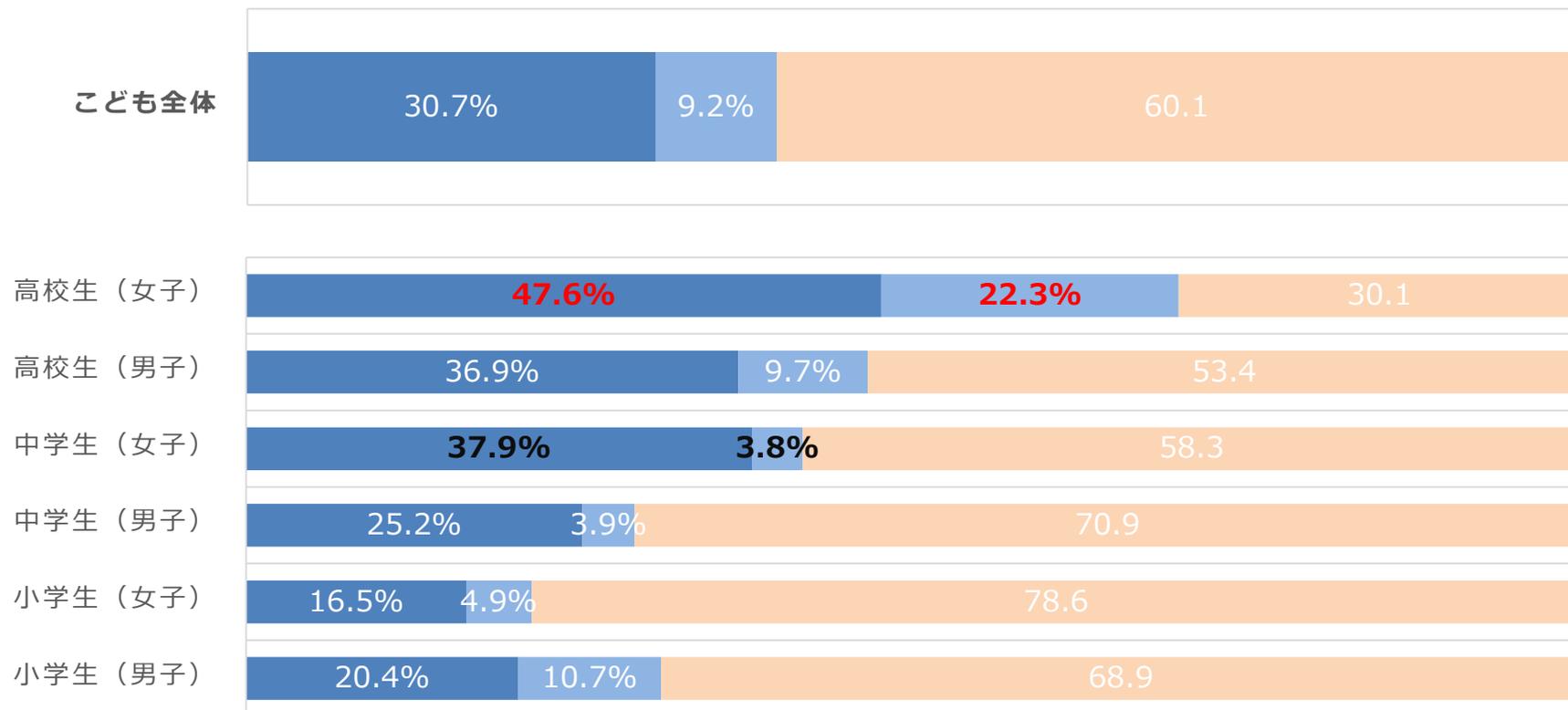
悩みごとの相談先として、「ネット上・SNSのみの友達」を選ぶ男子高校生は16.9%と昨年から10.1%増加、女子高校生は13.8%と昨年から3.7%減少。

理由は、男子高校生は「家族や友人、学校の先生等と話すより楽しいから」を挙げる未成年が最も多く57.1%であるが、女子高校生では「家族や友人、学校の先生などに知られたくない秘密を守ってくれそうだから」が最も多く、45.5%。ネット上の友達に対して秘密を守ってくれそうであるという安心感を持っている。

- 裏アカウントを持つ女子高校生は69.9%、昨年より1.0%増加
- 女子中学生が41.7%で昨年より12.6%増加。その他の学齢については昨年からは減少傾向。

Q. ネットやSNSの裏アカウントを持っていますか。

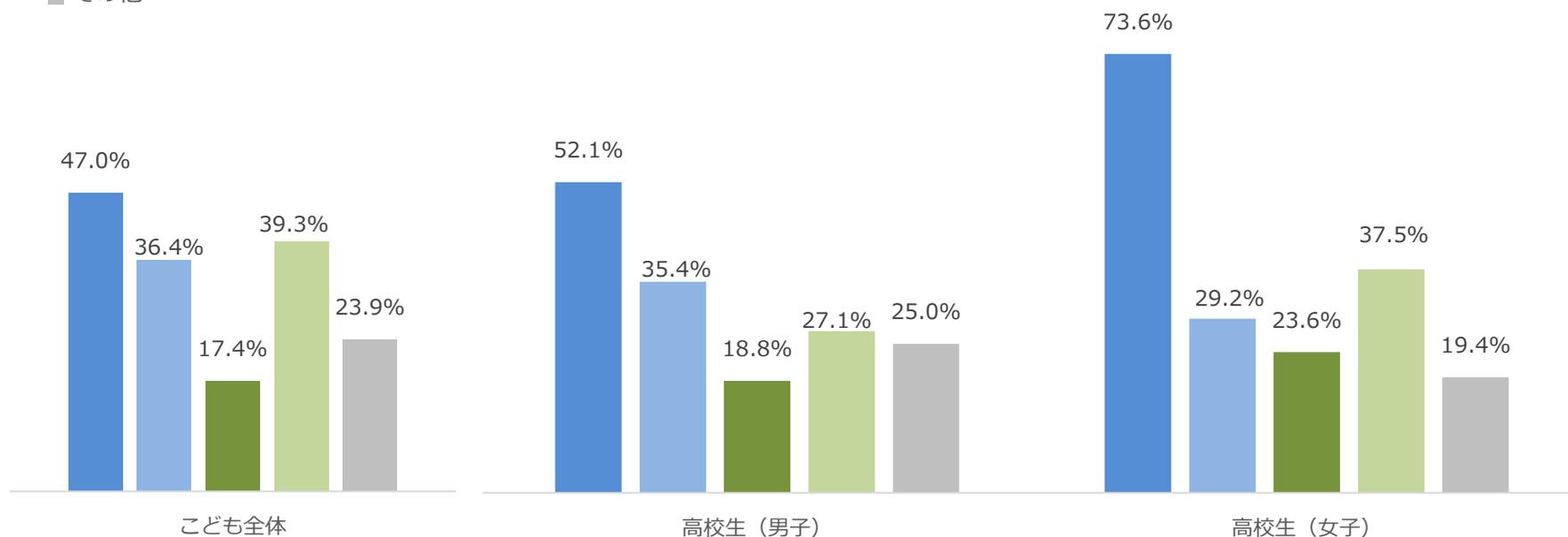
■ 持っている（1つ～2つ） ■ 持っている（3つ以上） ■ 持っていない



- 投稿する内容は「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が最も多く、未成年全体で47.0%、女子高校生は73.6%
- 「自分の考え方や悩みごとなど」とする女子高校生は23.6%

Q 裏アカウントでどんな内容を撮影・閲覧・投稿していますか

- 趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報
- 学校、職場での出来事、感じたことなど
- 自分の考え方や悩みごとなど
- プライベートでの出来事、感じたことなど
- その他

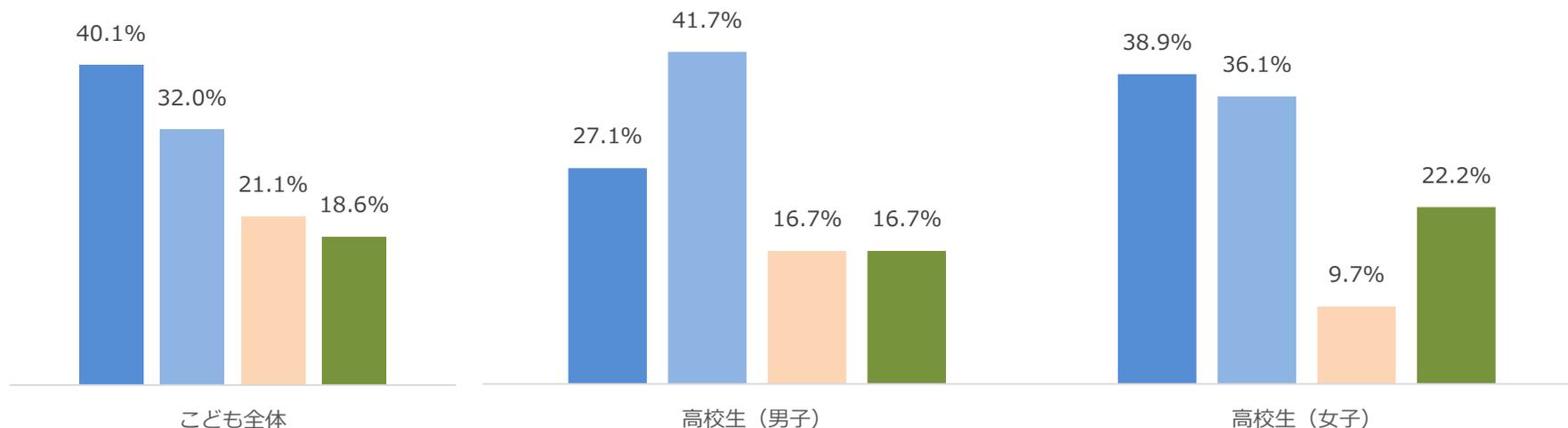


■ **女子高校生** で最も多い理由は「顔のわかる相手に知られたくない感情／言いたいことが言えるから」で、**38.9%**

■ **男子高校生**は「顔のわかる相手に知られたくない趣味や好きなもの・ことがあるから」が**41.7%**

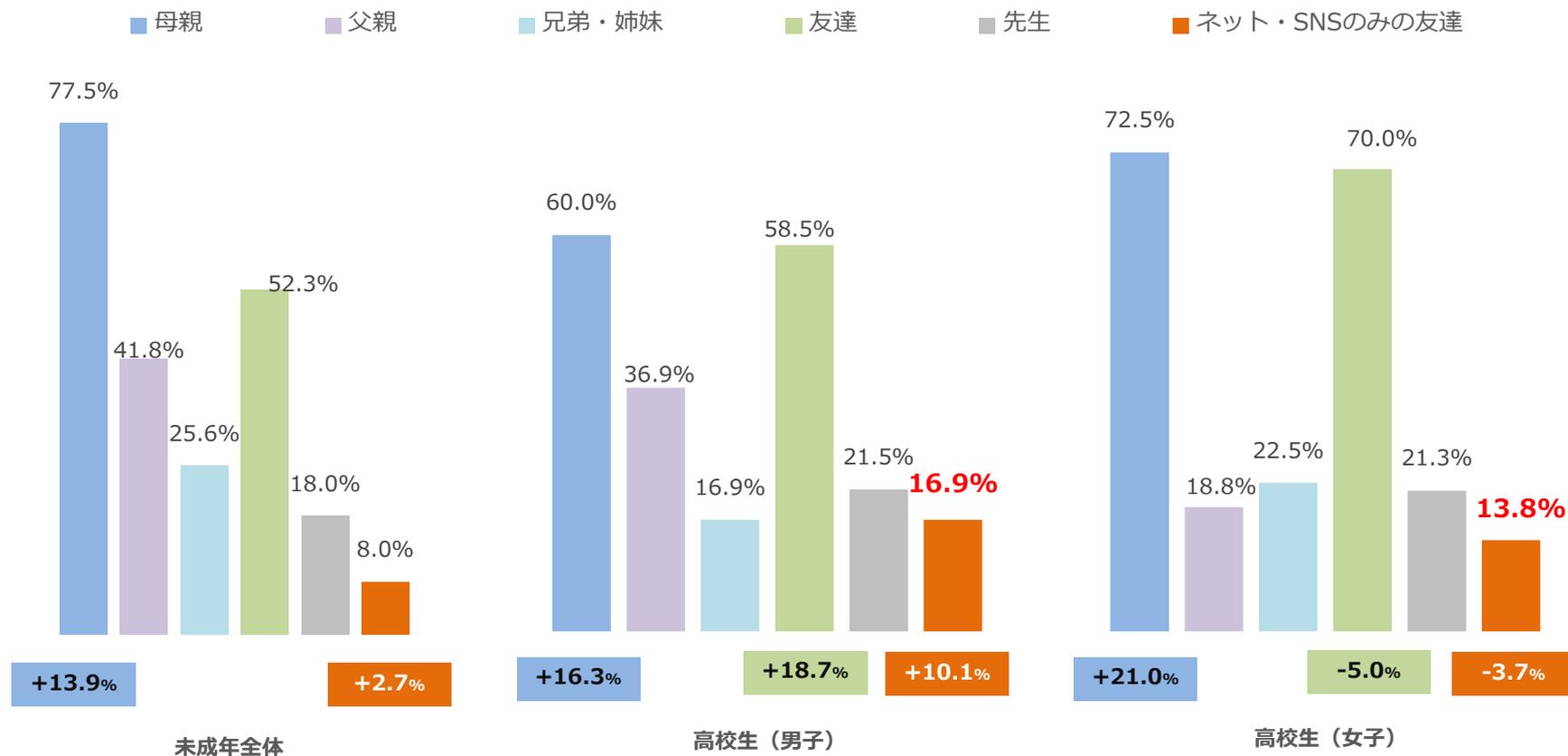
Q 裏アカウントを持っている理由は何ですか

- 家族や友人、学校の先生など、顔のわかる相手に知られたくない感情／言いたいことが言えるから
- 家族や友人、学校の先生など、顔のわかる相手に知られたくない趣味や好きな人・もの・ことがあるから
- 周囲が持っているから
- 家族や友人、学校の先生など、顔のわかる相手に言えない内容を投稿してストレスを発散したいから



- 最も多いのは「母親」で、未成年全体で77.5%、次いで「友達」が52.3%
- 「ネット上・SNSのみの友達」は男子高校生が16.9%と昨年から10.1%増加、女子高校生は13.8%と昨年から3.7%減少

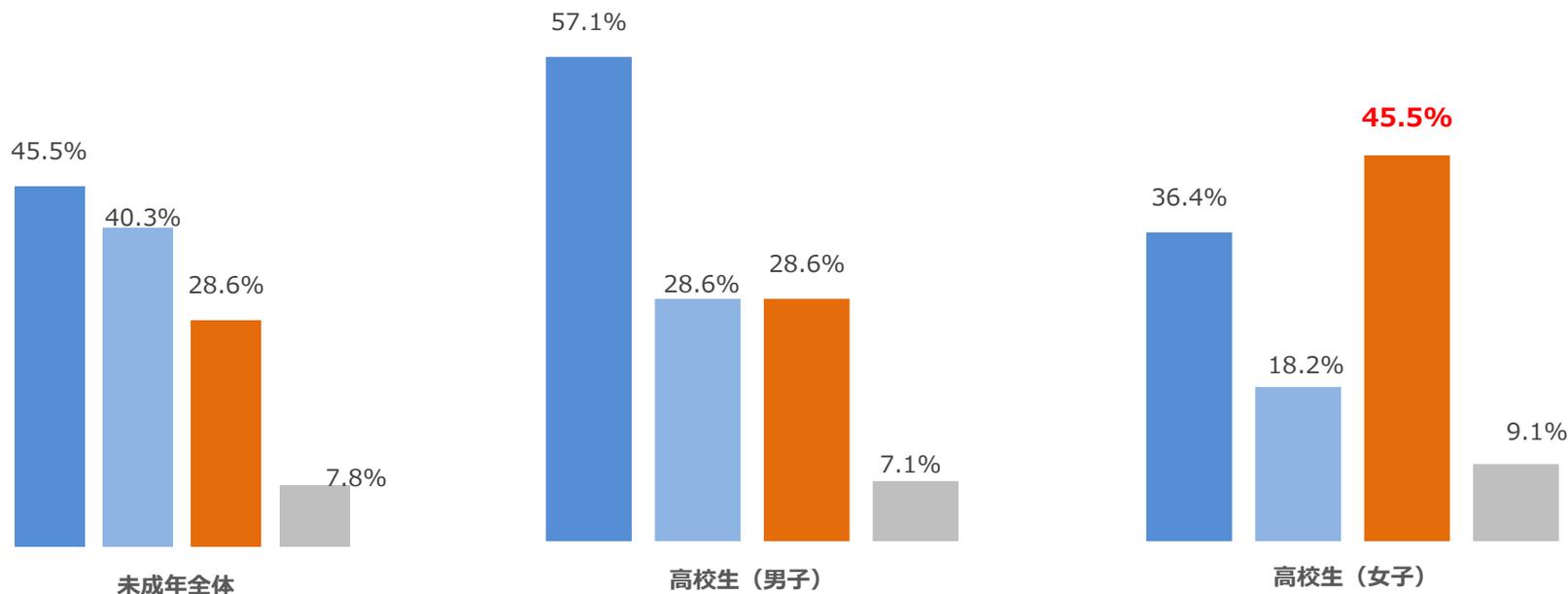
Q ネット上の友達など顔のわからない相手に相談する理由を教えてください



■「家族や友人、学校の先生等と話すより楽しいから」を挙げる未成年が最も多く、全体で45.5%。女子高校生では「家族や友人、学校の先生などに知られたくない秘密を守ってくれそうだから」が最も多く、45.5%

Q ネット上の友達など顔のわからない相手に相談する理由を教えてください

- 家族や友人、学校の先生と話すより楽しいから
- 家族や友人、学校の先生より自分を受け入れてくれると感じるから
- 家族や友人、学校の先生などに知られたくない秘密をまもってくれそうだから
- その他



フィルタリングの利用率

トピックス

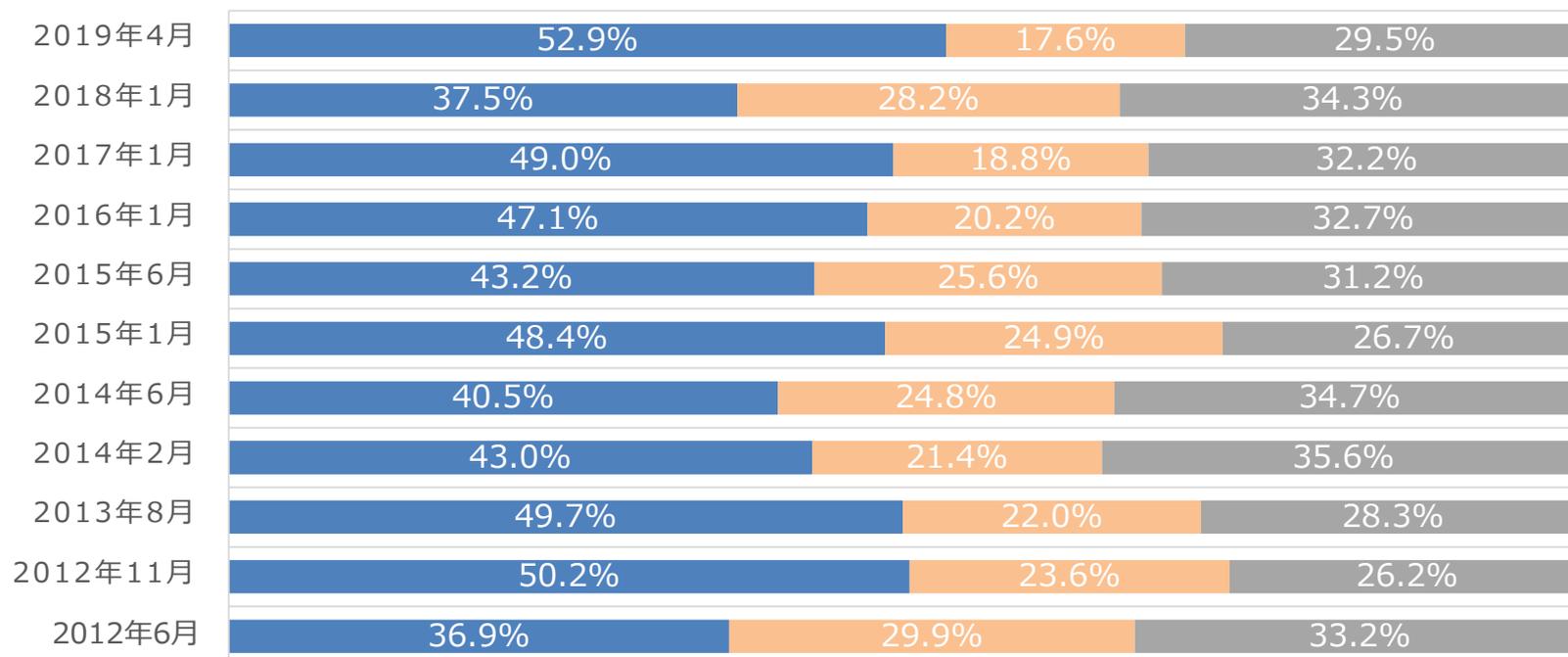
■ フィルタリングの利用率

携帯電話またはスマートフォン契約時にフィルタリングの説明を受けた未成年は52.9%。昨年から15.4%増加するものの、現在の使用率は40.0%と、昨年より9.5%減少。

■ 「携帯購入時にフィルタリングの説明を受けた」未成年は52.9%と 昨年から15.4%増加

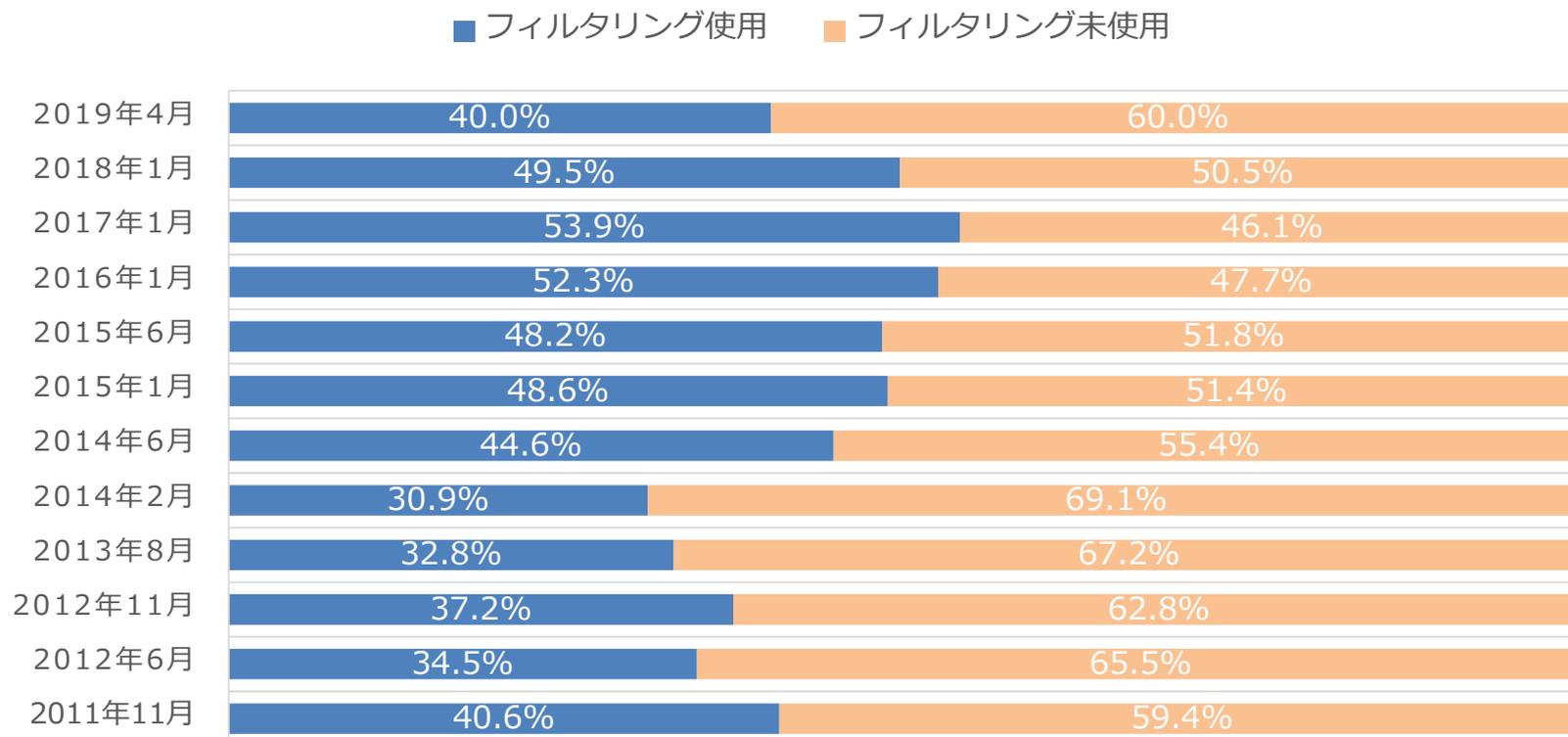
Q あなたが店頭でスマートフォン・携帯電話を購入した際、フィルタリングの設定について説明を受けましたか。
※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです

■ 説明を受けた ■ 説明を受けなかった ■ 覚えていない



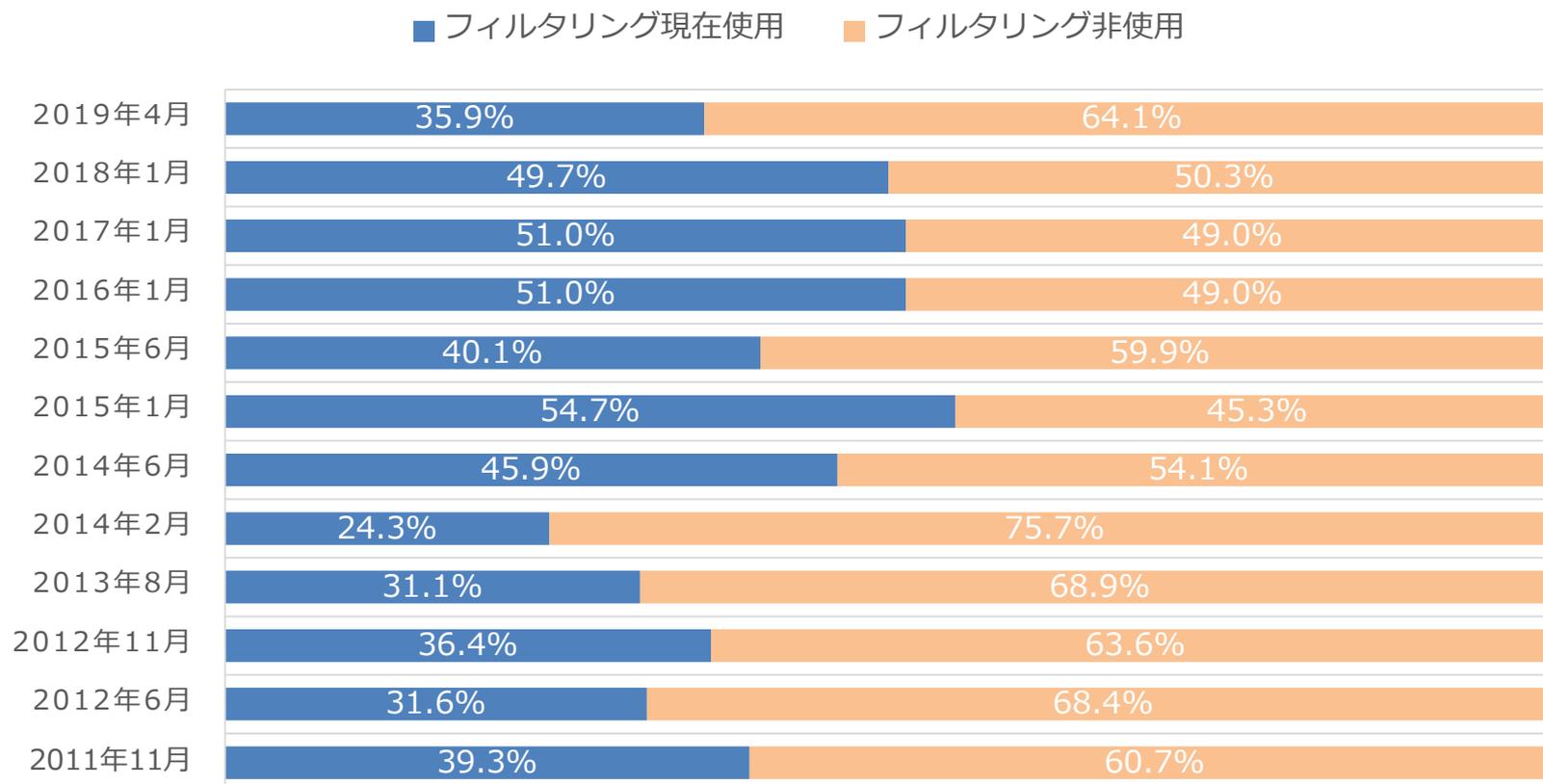
■ フィルタリングの現在の使用率は40.0%と9.5%減少

Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。
 ※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです



■小学生の使用率が35.9% と昨年から13.8%減少

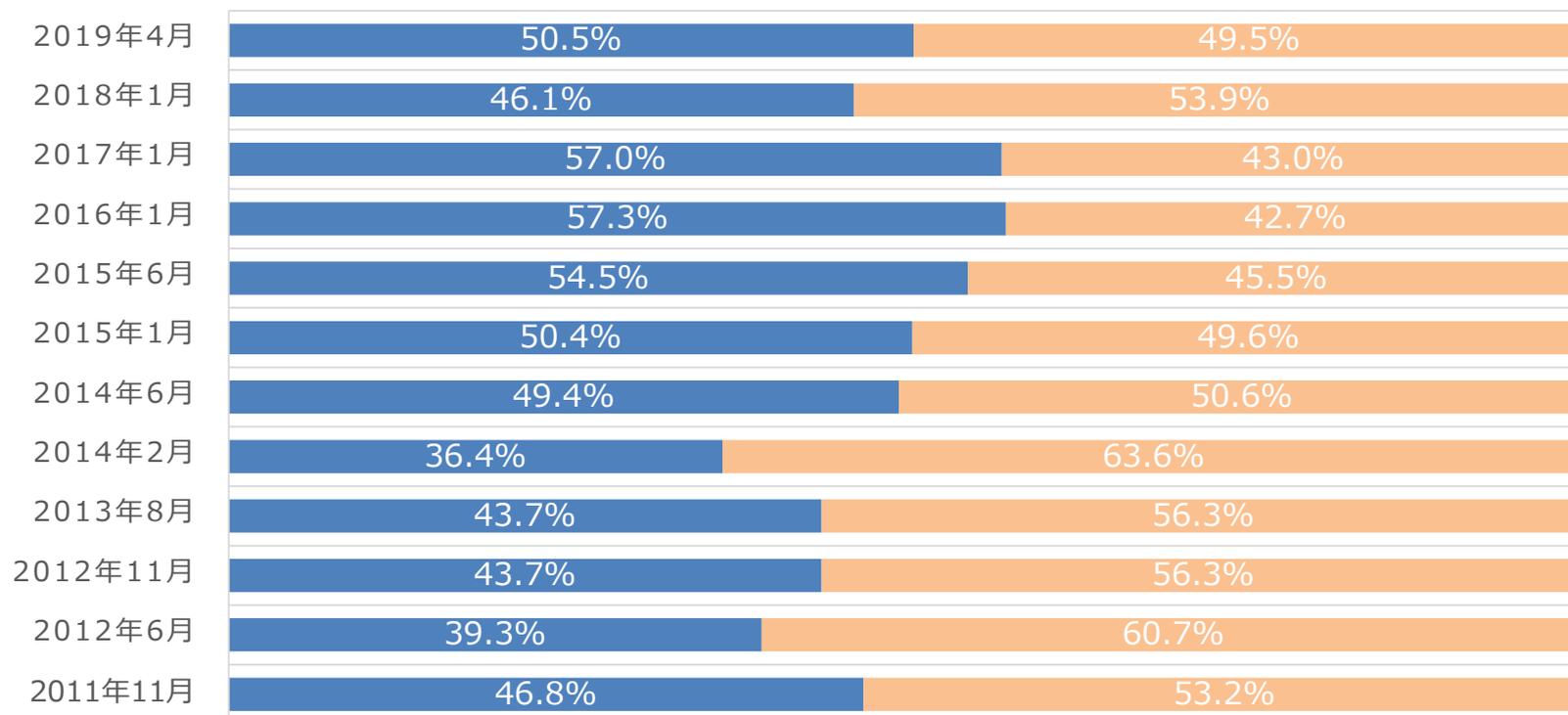
Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。
※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです



■ 中学生の使用率が50.5% と昨年から4.4%増加

Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。
※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです

■ フィルタリング現在使用 ■ フィルタリング非使用



■ 高校生の使用率が33.5% と昨年から11.8%減少

Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。
※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです

■ フィルタリング現在使用 ■ フィルタリング非使用

